

平成28年度  
事業報告書

## 目 次

I	事業の取組の概要.....	1
II	主要事業の実施状況 .....	3
III	事業報告	
1	県民の生活課題の解決	
	（1）生活課題を抱える住民の支援 .....	30
	（2）住民の権利擁護と福祉サービスの利用支援 .....	38
	（3）民生委員・児童委員の活動支援 .....	40
	（4）東日本大震災からの復興支援と災害時対応体制の整備 .....	43
2	住民の福祉活動の振興	
	（1）ボランティア活動の振興と福祉教育の推進 .....	48
	（2）情報発信機能の強化 .....	50
3	福祉人材の養成と確保	
	（1）福祉人材の養成とスキルアップ支援 .....	50
	（2）福祉人材の確保とマッチングの強化 .....	55
	（3）退職共済制度の適正運営と福利厚生事業の強化 .....	58
4	社会福祉事業経営の支援	
	（1）社会福祉事業経営の支援 .....	61
	（2）適正なサービス評価の実施 .....	64
5	多様な組織等との連携協働	
	（1）種別協議会・部会活動を通じた福祉サービス向上の取組、サービス利用者の福祉増進... 65	
	（2）多様な組織等との連携協働の推進 .....	77
6	指定管理施設の管理運営	
	（1）ふれあいランド岩手の管理運営 .....	86
7	県社協の活動基盤の強化	
	（1）県社協財政基盤の強化 .....	87
	（2）組織強化のための取組の促進 .....	88
8	会務の運営	
	（1）理事会の開催 .....	88
	（2）評議員会の開催 .....	89
	（3）監事等による監査の実施 .....	89
9	その他	
	（1）岩手県社会福祉大会の開催 .....	90

# I 事業の取組の概要

本会は、平成 26 年 3 月に「岩手県社会福祉協議会活動計画 2014-2018」を策定し、本会の基本理念である「地域福祉を推進し、誰もが住み慣れた家庭や地域で、共に支え合い、自分らしく、安心して生活することのできる、豊かな福祉社会の実現」に向けて、平成 28 年度は活動計画の中間年（3 年次目）として各種の事業に取り組みました。

## 1 東日本大震災被災者支援の取組

被災者の見守りや相談対応等を担う生活支援相談員を対象とした研修、活動研究会及び情報交換会を開催するなどして、相談員の資質向上を図ったほか、今後の被災者支援のあり方についての検討を行うため被災者の現状と生活課題を調査しました。

## 2 台風 10 号災害等の被災者支援の取組

平成 28 年 8 月の台風 10 号大雨災害では、県社協災害ボランティアセンターを設置するとともに県内の市町村社協をはじめ東北ブロック社協等に職員派遣を要請し、宮古市、久慈市及び岩泉町の各社協の災害ボランティアセンターの運営を支援したほか、災害時広域支援ネットワーク事業においても、岩泉町の避難所等にチーム員を派遣し被災者支援に取り組みました。

また、平成 28 年 4 月の熊本地震では、災害ボランティアセンター運営支援と生活福祉資金緊急小口資金特例貸付のため本会職員を熊本県社協と熊本市社協に派遣するとともに、益城町には災害派遣福祉チームを派遣し被災者支援に取り組みました。

## 3 生活困窮者自立支援の取組

生活困窮者自立支援法に基づく「盛岡圏域生活困窮者自立相談支援事業」を岩手県から受託し、生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業との一体的な業務運営により相談支援体制の充実を図り、自立支援プランを検討する支援調整会議及び地域づくりを協議する生活困窮者自立支援連絡会を開催するなどして生活困窮者の自立支援に取り組みました。

## 4 社会福祉法人制度の見直しへの対応

法人組織のガバナンスの強化などを内容とする社会福祉法の一部改正を受け、社会福祉法人制度改革セミナー等を開催し、各社会福祉法人が定款変更等への対応を適切に行えるよう支援しました。

また、地域公益活動を推進するための安心サポート事業にも取り組みました。

## 5 福祉人材の養成と確保

福祉人材の養成と確保では、キャリア支援員による事業所訪問や求職者への情報提供のほか、保育士・保育所支援センターにおける求職・求人のコーディネーターなどにより、福祉人材の確保や定着促進を図りました。

## 6 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に向けた取組

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に向けては、大会と連動して障がい者就労支援事業所商品の販売促進活動に取り組み、事業所の業務受注の確保や販路の拡大を図ったほか、県社協会員施設等の職員が大会運営ボランティアとして協力しました。

## 7 ふれあいランド岩手の適切な管理運営

平成6年12月の開館から22年目を迎えた、ふれあいランド岩手の管理運営では、利用者満足度を向上させるため、施設の機能と特色を最大限に生かした付加価値の高いサービスの提供に努め、利用者は過去最高の26万人となりました。

## II 主要事業の実施状況

### 1 県民の生活課題の解決

※事業名が「太字」のものは主要事業

事業名	事業概要	達成目標	実績・成果等	達成率
(1) 生活課題を抱える住民の支援				
社協・生活支援活動強化方針推進事業	研究会の開催 社会福祉法改正、介護保険法改正、生活困窮者支援などテーマ別の研究会を定期的に行い、市町村社協における円滑な事業展開を支援する。	全市町村社協がいずれかの研究会に参加 ・テーマ 社会福祉法改正 生活困窮 総合支援事業	○法人改革研究会の開催 ・第1回：9月7日 39名 ・第2回：11月18日 48名 ・社会福祉法人制度改革に関する相談会：11月30日 8名（4社協） ○生活困窮者相談研究会の開催 ・1月25日 16名 ○介護保険制度改正に関する研究会 市町村社協に生活支援コーディネーター配置が進んでいないため未実施 ○地域福祉活動計画策定に関する研究会 ・第1回：7月21日 11名 ・第2回：8月9日 14名 全市町村社協がいずれかの研究会に参加した。	100%
[地域福祉企画部]				
<b>盛岡圏域生活困窮者自立相談支援事業</b>	① 生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業を盛岡広域振興局から受託し、盛岡管内5町（雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町）を対象に実施 ② いわて県央生活支援相談室に、主任相談支援員1名及び相談支援員兼就労支援員2名を配置 ③ 自立支援プランを検討する支援調整会議及び地域づくりを協議する生活困窮者	新規相談 178件 支援対象 90件 プラン作成 42件 就職者（増収者含む） 22名 支援調整会議 28回 生活困窮者自立支援連絡会議 16回	○新規相談 222件 ○支援対象 106件 ○プラン作成 56件 ○就労、増収者 24件（就労継続支援事業所利用含む。） ○支援調整会議 33回 ○生活困窮者自立支援連絡会議 22回 支援調整会議と併せて実施。ケース検討、中間的就労に関する情報交換等を実施した。また、矢巾町においては、「矢巾町自殺予防ネットワーク会議」も併せて開催し、町	124% 117% 133% 109% 117% 137%

[地域福祉企画部]	自立支援連絡会議を開催		から自殺対策等に関する情報提供を出席者間で共有した。	
岩手県福祉コミュニティサポートセンター事業	<p>① 個別支援と地域支援を一体的に推進する技術をもった地域福祉活動コーディネーター（CSW）を養成するとともに、支え合いマップ実践手法の習得を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域福祉活動コーディネーター（CSW）養成研修会</li> <li>○ 支え合いマップ・インストラクター養成講座</li> </ul> <p>② 地域福祉活動コーディネーター（CSW）の継続的な資質向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域福祉活動コーディネーター（CSW）継続研修会</li> <li>○ 支え合いマップ・インストラクター継続研修会</li> <li>○ アドバイザー派遣</li> </ul>	<p>30人養成</p> <p>20人養成</p> <p>6事業所</p> <p>※1事業所3回訪問</p>	<p>○地域福祉活動コーディネーター（CSW）養成講座開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期課程：8月2日～3日 65名</li> <li>・提出課題勉強会：9月23日 11名、9月26日 10名</li> <li>・後期課程：11月11日～12日 64名（修了者数）</li> </ul> <p>○地域福祉活動コーディネーター（CSW）継続研修会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月29日 13名</li> </ul> <p>○支え合いマップ・インストラクター養成講座開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回：6月20日～21日 30名</li> <li>・第2回：7月21日～22日 29名</li> <li>・第3回：10月13日 28名（修了者数）</li> </ul> <p>○福祉コミュニティサポートアドバイザー派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者総合相談センターふじさわ（住民主体サロン立ち上げ・運営への助言）7月19日</li> <li>・岩泉町社協（地域福祉活動計画策定見直しへの助言）8月22日</li> <li>・滝沢市包括（滝沢市生活支援体制整備事業の第1層の協議体におけるグループワークの進行及び助言）2月15日、2月21日</li> <li>・地域生活支援センター・カシオペア（障がい者相談支援事業従事者を対象とした研修講師）2月20日</li> <li>・滝沢市社協（地域福祉活動計画の評価及び見直しへ助言）3月6日</li> <li>・二戸地区社協連絡会（相談支援事業従事者等研修会の講師）3月8日</li> </ul>	<p>213%</p> <p>140%</p> <p>6事業所</p>
[地域福祉企画部]				
市町村社会福祉協議会部会事業	<p>① 研究会の開催</p> <p>社会福祉法改正、介護保険法改正、生活困窮者支援などテーマ別の研究会を定期的に行い、市町村社協における円滑な事業展開を</p>	全市町村社協がいずれかの研究会に参加	<p>○法人改革研究会の開催（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回：9月7日 39名</li> <li>・第2回：11月18日 48名</li> <li>・社会福祉法人制度改革に関する相談会：11月30日</li> </ul>	100%

[地域福祉企画部]	<p>支援する（再掲）</p> <p>② 役職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新任職員研修</li> <li>○ 先進地視察研修</li> <li>○ 市町村社協トップセミナー</li> </ul> <p>③ 委員会の設置</p> <p>地域福祉活動計画策定推進委員会を開催し、地域福祉活動計画の策定社協数を、21市町村社協(平成28年1月現在)から、24市町村社協とする。</p>	地域福祉活動計画を24市町村社協が策定	<p>8名(4社協)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活困窮者相談研究会の開催(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月25日 16名</li> </ul> </li> <li>○介護保険制度改正に関する研究会(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村社協に生活支援コーディネーター配置が進んでいないため未実施</li> </ul> </li> <li>○地域福祉活動計画策定に関する研究会(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回:7月21日 11名</li> <li>・第2回:8月9日 14名</li> </ul>           全市町村社協がいずれかの研究会に参加した。         </li> <li>○新任職員研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月27日～28日 36名</li> </ul> </li> <li>○先進地視察研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月29日～31日 15名</li> </ul> </li> <li>○市町村社協トップセミナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月25日 50名</li> </ul> </li> <li>○地域福祉活動計画策定委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月7日、8月9日、3月23日</li> <li>・委員等による未策定社協個別訪問 <ul style="list-style-type: none"> <li>10月～11月に予定したが、台風10号災害対応で未実施。2月に計画未策定の10社協に取組状況等を電話確認</li> </ul> </li> <li>・平成28年度、地域福祉活動計画を策定した市町村数: 3市町村社協(釜石市社協、岩手町社協、野田村社協)</li> </ul>           ※策定済み社協数:26市町村社協         </li> </ul>	108%
いわて“おげんき”みまもりシステム管理運営事業	システムを安定運用し、利用登録者数の増加を図るとともに、市町村社協の一人暮らし高齢者見守り状況調査を実施し、現状と課題及びシステム導入の意向を確認す	登録者数1,071人	<ul style="list-style-type: none"> <li>○おげんきさん登録数 1,103人</li> <li>○センター新規設置 1か所</li> </ul>	102%

[地域福祉企画部]	る。			
生活福祉資金貸付事業	<p>低所得者、障がい者及び高齢者に対し、生活福祉資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立、生活意欲の助長、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにする。</p> <p>① 市町村社協担当職員研修会の実施 生活困窮者自立相談支援事業との連携による相談支援の質的な充実を図るため、生活福祉資金担当職員・自立相談支援事業担当者を対象に研修を実施する。</p> <p>② 適切な債権管理の推進 市町村社協の協力を得て、適切な債権管理を図り、償還率の維持向上、滞納世帯の状況把握及び相談支援に努める。</p>	償還指導 270 件	<p>○貸付決定件数 1,031 件 (うち自立相談支援事業と連携した貸付件数 169 件)</p> <p>○生活福祉資金貸付事業担当職員研修会 ・6月9日～10日 ふれあいランド岩手 81名 ※生活福祉資金貸付と生活困窮者自立相談支援機関が連携した事例検討及び制度説明、相談支援の知識・技術向上を目的とする講義等を内容として開催</p> <p>○相談支援数 395 件 ・償還指導 395 件 (35 か所)</p>	146%
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業  ⑧	<p>経済的に厳しい状況に置かれたひとり親家庭の自立を促進するため、高等職業訓練促進給付金の支給を受けた者に対し入学準備金及び就職準備金を貸し付ける。</p>	年間貸付可能人数 20 人	<p>○貸付要領の制定、ホームページへの掲載、関係機関への周知、パートナーへの掲載等を実施</p> <p>○平成 28 年度貸付決定者 (12 月募集開始) ・入学準備金 2 件 ・就職準備金 2 件</p>	—
児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業  ⑧	<p>児童養護施設を退所し就職や進学する者等の安定した生活基盤を築き、円滑な自立を実現するため、児童養護施設退所者等に対し自立支援資金を貸し付ける。</p>	年間貸付可能人数 37 人	<p>○貸付要領の制定、ホームページへの掲載、関係機関への周知、パートナーへの掲載等を実施</p> <p>○岩手県児童養護施設協議会全体研修会で説明、周知</p> <p>○平成 28 年度貸付決定者 (12 月募集開始) ・生活支援費 0 件 ・家賃支援費 1 件 ・資格取得支援費 0 件</p>	—
[福祉経営支援部]				



(2) 住民の権利擁護と福祉サービスの利用支援				
日常生活自立支援事業	① 認知症、知的障がい、精神障がい等で判断能力が十分でない方に、支援計画に基づいて福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス及び書類等の預かりサービスを提供する。	実施体制の充実  盛岡市社協、滝沢市社協への支援	○平成 28 年度は滝沢市社協を基幹化（専門員 1 名配置）を図り、盛岡地域の専門員一人当たりの担当ケース数の減少（60 ケース→49.5 ケース） ○県へ所要額財源について要望し、県補助分について確保 ○盛岡市社協及び滝沢市社協への支援 ・滝沢市社協の基幹化及びケース移管等の支援（～7 月）	100%
	② 11 基幹社協（盛岡市、滝沢市、八幡平市、北上市、奥州市、一関市、大船渡市、釜石市、宮古市、久慈市及び二戸市）に業務の一部を委託し、基幹社協の専門員 20 名と市町村社協の生活支援員 180 名が利用者支援を実施する。	研修及び業務点検等による支援	○研修 ・新任専門員研修会 4 月 26 日 9 名 ・新任生活支援員研修会 5 月 12 日 23 名 ・専門員・生活支援員研修会 10 月 12 日 115 名 ○契約締結審査会・専門員との意見交換会 ・毎月第 3 火曜日に開催	100%
	③ 利用者数（平成 28 年 1 月末現在） 932 名（うち生活保護受給者 343 名） ④ 専門員 1 人当たりの担当利用者数 49 名（国の基準は 35 名） ⑤ 研修体制 新任専門員研修会、新任生活支援員研修会、専門員・生活支援員研修会及び専門員研修会	県等との連携による促進	○業務点検（6～11 月） ・業務点検による課題把握、解消支援 11 基幹社協 ※宮古及び久慈地域は台風 10 号の影響により書面審査 ○利用者数 ・新規契約件数 143 件 ・利用者数 941 名（うち生活保護受給者 334 名） ○専門員 1 人当たりの担当利用者数 ・47 名（国の基準は 35 名） ・奥州 54.5 ケース、一関 56 ケース、釜石 58 ケース ○成年後見推進支援事業の受託 ・成年後見申立講座 2 月 16 日 130 名 ・成年後見人養成・制度普及研修会 2 月 28 日 92 名	100%
[地域福祉企画部]				前年比 7 名増
福祉サービス苦情解決事業	① 事業所における体制整備の支援 苦情解決の体制整備を行うため、規程	指導対象事業者数 60 事業所（巡回訪	○事業所における苦情解決体制の整備の促進及び苦情解決能力や福祉サービスの質の向上が図られる	

<p>[福祉サービス運営適正化委員会]</p>	<p>及び運用マニュアルの作成を支援し、苦情解決の仕組みの定着を図る。</p> <p>② 巡回訪問及び情報交換会の実施 苦情解決能力を高めるため、事業所巡回訪問及び苦情解決情報交換会（基礎研修）を実施する。</p> <p>③ 苦情解決意見交換会の開催 苦情解決体制の定着を図るため、県内3地区の希望事業所との意見交換会を開催する。</p> <p>④ 苦情を考えるセミナーの開催 苦情解決に関する普及啓発を図るため、県内事業所の取組事例等を紹介するセミナーを開催する。</p> <p>⑤ 苦情解決に関する情報提供 機関紙「パートナー」、ホームページ等を活用し、福祉サービスの利用者、福祉事業者等に苦情解決の仕組みをPRする。</p> <p>⑥ 苦情解決事業状況調査の実施 今後の普及啓発活動や研修事業の内容の充実を図るため、県内の社会福祉事業所を対象に、苦情解決の取組状況についてアンケート調査を行い、動向、課題等を分析する（隔年実施）。</p>	<p>問・情報交換会・セミナー)</p>	<p>よう支援</p> <p>○3月末現在の実績は64事業所で、達成率は106%</p> <p>【内訳】</p> <p>事業所巡回訪問 : 40事業所 苦情解決情報交換会 : 19事業所 苦情を考えるセミナー : 5事業所 合計 64事業所</p> <p>(注) 苦情解決情報交換会及び苦情を考えるセミナーでは、苦情解決責任者（管理者）が出席し、かつ、未訪問事業所の場合に限り実績としている。</p>	<p>106%</p>
<p>(3) 民生委員・児童委員の活動支援</p>				
<p>民生委員児童委員活動支援事業</p>	<p>① 民生委員一斉改選への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新任民生委員研修会</li> <li>○ 新任会長・副会長研修会</li> <li>○ 市町村民児協事務局会議</li> </ul> <p>② 民生委員・児童委員の資質向上</p>	<p>新任委員、新任会長・副会長の9割受講</p>	<p>① 民生委員一斉改選への対応</p> <p>○新任民生委員児童委員研修会（新任委員数1,073人）</p> <p>4会場で6回実施1,179名</p> <p>1月13日 宮古会場 114名 1月19日 奥州会場 262名</p>	<p>110%</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主任児童委員研修会</li> <li>○ 会長・副会長研修会</li> <li>○ 民生委員等を対象とした相談事業研修会</li> <li>③ 平成 29 年度の民生委員制度創設 100 周年への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 記念大会の開催準備</li> <li>○ 県内統一事業の検討</li> <li>○ 全国及び本県の民生委員児童委員活動の歩みの取りまとめ</li> </ul> </li> <li>④ 被災地民児協活動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 被災地民児協訪問支援</li> <li>○ 東日本大震災に係る民生児童委員活動負担増分補助</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>1 月 20 日 奥州会場 210 名</li> <li>1 月 23 日 盛岡会場 247 名</li> <li>1 月 24 日 盛岡会場 220 名</li> <li>1 月 27 日 二戸会場 114 名</li> <li>○新任単位民生委員協議会会長研修会 (2 期まで 59 人) <ul style="list-style-type: none"> <li>2 月 28 日アイーナ 82 名</li> </ul> </li> <li>② 民生委員・児童委員の資質向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>○主任児童委員研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>7 月 15 日 208 名、8 月 1 日 193 名</li> </ul> </li> <li>○会長・副会長研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>2 月 7 日～8 日 406 名</li> </ul> </li> <li>○民生委員等を対象とした相談事業研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>10 月 27 日～28 日 108 名</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>③ 平成 29 年度の民生委員制度創設 100 周年への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>○記念大会の開催準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年 8 月 24 日の記念大会開催に向け、会場確保及び講師の確保等の準備を行った。</li> </ul> </li> <li>○県内統一事業の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>企画委員会で、民生委員 PR と担当地区の実情把握を目的とした訪問活動の展開を県内統一事業として、平成 29 年度事業に盛り込んだほか、3 月 11 日を「3.11 絆の日 (東日本大震災を忘れない日)」に位置づけ、各委員又は民児協で活動を呼びかけることとした。</li> </ul> </li> <li>○全国・本県の民生委員児童委員活動の歩みの取りまとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 28 年度において取りまとめできなかったため、平成 29 年度も継続して取り組む。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>④ 被災地民児協活動支援</li> </ul>	139%
--	---	--	---	------

[地域福祉企画部]			<p>○被災地民児協訪問支援の実施</p> <p>5市町村民児協を訪問</p> <p>宮古市（7月8日）、大槌町（7月29日）</p> <p>野田村（8月10日）、釜石市（8月31日）</p> <p>山田町（9月14日）</p>	
(4) 東日本大震災からの復興支援と災害時対応体制の整備				
<p><b>生活支援相談員 支援事業</b></p> <p>[地域福祉企画部]</p>	<p>① 資質向上のための研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動研究会</li> <li>○ 人材育成研修会</li> <li>○ 現地研修</li> <li>○ 生活支援相談員情報交換会</li> <li>○ 内陸沿岸連絡会議</li> </ul> <p>② 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対象：被災者 1,500 人程度</li> <li>○ 被災者の現状、生活課題を調査</li> <li>○ 被災者支援のあり方や生活支援相談員活動の方向性を研究</li> </ul> <p>③ 被災者の制度利用援助、意思決定支援及び民生委員活動との連携強化</p> <p>④ 活動の可視化・ITの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動実績の取りまとめ及びニュースレターの発行</li> <li>○ 事例集発行</li> </ul>	<p>生活支援相談員の配置 190 名（うち 3 名を県社協に配置）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動実績 対象 14,166 世帯 支援延べ回数 295,309 件（平成 29 年 3 月末現在）</li> <li>○現地事例検討（5月22～23日：釜石市 79 名、6月26～27日：宮古市 51 名、8月28～29日：大船渡市 102 名）</li> <li>○情報交換会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内陸相談員（1月16日：盛岡市 24 名）</li> <li>・沿岸相談員（12月12日：宮古市 23 名、12月20日：釜石市 44 名）</li> <li>・リーダー（6月16日：山田町 41 名、12月16日：釜石市 18 名）</li> </ul> </li> <li>○生活支援相談員活動研究会（11月14～15日：盛岡市 92 名）</li> <li>○統括担当者のための人材育成研修（1月24～25日：盛岡市 18 名）</li> <li>○被災者支援沿岸内陸連絡会議（5月31日：盛岡市 55 名）</li> <li>○東日本大震災被災者実態調査研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会開催 6月3日、7月22日、12月26日、2月17日</li> <li>・アンケート調査の実施 1,520 名から回答</li> </ul> </li> <li>○生活支援相談員活動事例集の発行</li> <li>○ニュースレター発行（vol.9～17）</li> <li>○フェイスブックによる情報発信</li> </ul>	<p>9月末 173名 91%</p>

<p>災害復興基金事業</p> <p>[総務部]</p>	<p>① 災害復興基金の増額 長期化する復興支援活動に対応するため、寄付金等を災害復興基金に繰り入れて基金の増額を図る。</p> <p>② 被災者支援活動への助成 本会と市町村社協が行う被災者支援活動を対象に基金を活用する。</p>	<p>3,000 千円</p> <p>15,000 千円</p>	<p>○寄付金等を災害復興基金に繰り入れて基金を増額 ・実績 5,081 千円 (48 件)</p> <p>○市町村社協と本会が行う被災者支援活動と台風 10 号災害に係る支援活動を対象に基金を活用し助成を決定 ・実績 27,694 千円 [内訳]市町村社協 7,724 千円(東日本大震災4町村) 県社協 400 千円 (東日本大震災1件) 県社協 19,570 千円 (台風10号災害) (県社協分は全社協助成5,000千円を含む。)</p>	<p>169%</p> <p>185%</p>
<p>ボランティア・市民活動センター事業</p> <p>[地域福祉企画部]</p>	<p>① 活動希望者・団体等と沿岸市町村ボランティアセンターのコーディネート</p> <p>② 東北・北海道ブロック連絡会議開催時における現地対応訓練の実施</p> <p>③ 岩手県災害ボランティア支援ネットワークへの参画</p>		<p>① 活動希望者・団体等からの照会に応じて、随時コーディネートした。</p> <p>② 連絡会議開催時とは別に仙台市で協議を行う予定だったが、台風10号災害への対応等により実施を見送った。</p> <p>③ ネットワーク会議(5月25日)に参画した。</p>	
<p>災害時広域支援ネットワーク(災害派遣福祉チーム)推進事業</p>			<p><b>【熊本地震派遣】</b> 派遣期間：4月28日～5月18日(21日間) 活動場所：益城町交流情報センター(避難者約200名) 派遣人数：チーム5班 延べ24名 ※5月13日から京都府DWA Tに活動を引き継いだことから、本県チームは第5班で派遣終了</p> <p><b>【台風10号による岩泉町派遣】</b> 派遣期間：8月30日、9月1日～30日、10月3・7日(3日間) 活動場所：矢巾町消防学校、岩泉町指定避難所(町民会館、龍泉洞温泉ホテル等) 派遣人数：チーム7班 54名</p>	

[福祉経営支援部]	<p>① 岩手県災害派遣福祉チーム派遣体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資機材の整備</li> <li>○ 本部、チーム員、派遣元施設等との連絡体制の強化</li> <li>○ マニュアルに基づく連絡訓練</li> <li>○ 局内における派遣初動訓練</li> </ul> <p>② チーム員の養成（県委託業務）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新規募集</li> <li>○ 登録研修</li> <li>○ スキルアップ研修【前期】</li> <li>○ スキルアップ研修【後期】</li> <li>○ 市町村防災訓練参加等訓練の実施</li> </ul> <p>③ チーム検討部会の開催 岩手県立大学及び県との地域協働研究による派遣体制・養成研修の検証等</p> <p>④ チーム員連絡協議会の開催 10 圏域を 6 か所程度で開催</p>	<p>初動を想定した資機材配置調整</p> <p>各 1 回実施 各 1 回実施</p> <p>30 名 70 名（予定者含む。）</p> <p>60 名 60 名 1 回以上</p>	<p>※ 消防学校ではヘリ搬送の老健利用者をフォローし、岩泉町内避難所では滞在型の支援を展開</p> <p>① 岩手県災害派遣福祉チーム派遣体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チームごとの資機材配置に向けた準備</li> <li>・ マニュアルに基づく連絡訓練（未実施）</li> <li>・ 局内における派遣初動訓練（未実施）</li> </ul> <p>② チーム員の養成（県委託業務）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規募集（1 月実施：34 名が予定者として登録）</li> <li>・ 登録研修（1/28～29：前年度までの未修了者含む 36 名修了）</li> <li>・ スキルアップ研修 1（未実施）</li> <li>・ スキルアップ研修 2（未実施）</li> <li>・ 市町村総合防災訓練参加等（未実施）</li> </ul> <p>③ チーム検討部会の開催（県）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討部会（未実施）</li> </ul> <p>④ チーム員連絡協議会の開催（県） 未実施</p>	<p>—</p> <p>113%</p> <p>51%</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>
-----------	--	--	--	--

(5) 台風 10 号災害への対応 ※年度当初の事業計画にはない事項

1 被害状況

(1) 人的被害

死亡者 21 名、行方不明 2 名

(2) 住家被害

○全県 4,272 棟（33 市町村中 21 市町村）

○久慈市・岩泉町・宮古市 3,884 棟

市町村	全壊	大規模半壊	半壊（床上）	一部損壊 （床下含む）	合計
宮古市	29	117	695	467	1,308
岩泉町	444	233	249	41	967
久慈市	12	148	832	634	1,626
小計	485	498	1,776	1,142	3,901

### (3) 道路被害

宮古方面 国道 106 号 （片側暫定開通 9/10・全面開通 10/19）

久慈方面 国道 281 号 （久慈方面開通 9/8・山形町方面開通 9/13）

岩泉方面 国道 455 号 （役場～小本 9/8・役場～小川 9/12）

### 2 災害ボランティアセンターの開設

- ・宮古市社協災害ボランティアセンター 8月31日
- ・久慈市社協災害ボランティアセンター 9月1日
- ・岩泉町社協災害ボランティアセンター 9月1日
- ・岩手県社協災害ボランティアセンター 8月31日

### 3 支援活動の状況

#### (1) 支援体制の構築

- ・9月2日 宮古市社協災害VC広域支援打合せ会議（会場：宮古市社協）
- ・9月2日 久慈市社協災害VC広域支援打合せ会議（会場：久慈市社協）
- ・9月5日 災害ボランティアセンター支援連携会議（会場：ふれあいランド岩手）  
参加：盛岡市社協、NPO フォーラム 21、いわて連復興センター、SAVE - IWATE
- ・9月6日 岩泉町社協災害VC広域支援打合せ会議（会場：奥州市社協）  
（岩泉町社協支援会議）
- ・9月21日 台風10号災害支援第1回連絡会議（会場：岩泉町社協）
- ・10月5日 台風10号災害支援第2回連絡会議（会場：ふれあいランド岩手）

#### (2) 県内市町村社協による広域派遣支援

##### ①実施期間

- ・毎日型支援 9月2日～10月10日（宮古市災害VC・久慈市災害VC）

9月2日～10月31日（岩泉町災害VC）

・週末型支援 11月1日～11月27日（岩泉町災害VC）

②派遣人数

延べ1,233名（宮古市266名（本部126名、新里140名）、岩泉町881名、久慈市86名）

※被害の甚大だった岩泉町、久慈市を除く全ての市町村社協から派遣

(3) 東北ブロック社協による支援

①実施期間 9月16日～10月11日

②支援社協（3県・18市町村社協）

- ・青森県（青森県社協・八戸市社協・三戸町社協・南部町社協・階上町社協・田子町社協・おいらせ町社協・十和田市社協・六ヶ所村社協・青森市社協・野辺地町社協・弘前市社協）
- ・秋田県（秋田県社協・横手市社協・大仙市社協・仙北市社協・北秋田市社協）
- ・山形県（山形県社協・山形市社協・大石田町社協・朝日町社協）

③派遣人数 延べ150名

(4) 中央共同募金会災害派遣支援プロジェクト

①実施期間 9月3日～11月30日

②派遣人数 延べ122人

(5) NPO及び各種団体による支援

①いわてNPO災害支援ネットワークによる支援

②岩手県社会福祉法人経営者協議会青年部による支援

（岩泉町社協災害VC小川サテライト及び小本サテライト／延べ240名）

③地元企業による支援（岩手県北観光・9月中旬～11月27日・車両及び職員の長期派遣）

(6) ボランティアバスの運行

①運行期間 県社協（9月17日～11月6日の週末中心）・盛岡市（9月10日～10月30日の毎日）

②運行実績

行先 運行者	宮古市		岩泉町		久慈市		計
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	
市町村社協	14回	290名	70回	757名	9回	122名	
県社協			20回	750名			



※盛岡市			48回	1,433名				
計	14回	290名	138回	2,940名	9回	122名	161回	3,352名

※市町村社協による運行 19市町村 93回 1,169人

③ボランティアバス運行助成

対象：10月15日～10月31日に行うボランティア活動

実績：8件 676,180円

4 ボランティア活動者の状況

延べ23,667名（平成28年12月末日現在）

宮古本部	1,538名	岩泉本部	11,271名	久慈	3,642名
新里	1,040名	小本	1,781名	その他	220名
川井	399名	小川	3,776名		
小計	2,977名	小計	16,221名	総合計	23,667名

5 その他（応急仮設住宅等への生活家電整備支援）

岩手県と連携し、企業・団体及び個人に寄付を呼び掛け、久慈市、宮古市、岩泉町、野田村及び普代村の応急仮設住宅（247戸）等への生活家電の整備を支援した。

① 寄付金目標額 33,850,000円

② 受入額 37,586,838円

③ 整備経費 33,308,139円

受入額①から整備経費③を差引いた残額4,278,699円は岩手県の義援金に支出

(6) 熊本地震災害への対応 ※年度当初の事業計画にはない事項

1 被害状況

(1) 地震の状況

4月14日前震 熊本県熊本地方 マグニチュード6.5、最大震度7、熊本県内45市町村に災害救助法適用

4月16日日本震 熊本県熊本地方 マグニチュード7.3 最大震度7、4月25日激甚災害指定

(2) 被害状況

死者49名、災害関連死16名、行方不明1名、重傷者279名、軽傷者1,059名、住家被害26,500棟、平成28年4月26日現在

2 支援活動の状況

(2) 生活福祉資金緊急小口資金特例貸付への職員派遣
① 派遣職員数 2名
② 派遣期間 平成28年5月14日(土)～5月21日(土)
③ 活動先 熊本県熊本市
④ 活動内容 熊本市社会福祉協議会における中央区の緊急小口資金特例貸付受付
(3) 熊本県社会福祉協議会災害ボランティアセンターへの職員派遣
① 派遣職員数 5名
② 派遣期間 平成28年5月23日(月)～6月28日(火) 移動日を含む
③ 活動先 熊本県社会福祉協議会災害ボランティアセンター(熊本市)
④ 活動内容 熊本県社会福祉協議会災害ボランティアセンター本部支援、益城町ほか熊本県内各地の情報収集等

## 2 住民の福祉活動の振興

事業名	事業概要	達成目標	実績・成果等	達成率
(1) ボランティア活動の振興と福祉教育の推進				
ボランティア・市民活動センター事業	① 「ボランティア体験 in いわて」の開催 夏休み期間を中心に、社協、福祉施設等から体験メニューを募り、ボランティア活動に参加できる機会を提供する。	体験プログラム数 100以上	① 「ボランティア体験 in いわて」の開催 プログラム提供施設・団体 71 プログラム数 90 プログラム 参加者：1,793名	90%
	② ボランティア出前講座の開催 ボランティアに関する講話やキャップハンディ体験など、県内の企業・団体等からの要望に応じ、出前講座を開催する。	開催回数 20回 参加人数 1,200名 以上	② ボランティア出前講座の開催 開催回数 14回・参加人数 914名	
	③ コーディネーター研修会の開催 ボランティアの活動推進やコミュニティワークの推進を担う社協職員の資質向上のための研修会を開催		③ コーディネーター研修会の開催 ・ 台風10号災害への対応等により、今年度は実施を見送った。	
	④ 市町村社協VC担当者研究会		④ 市町村社協VC担当者研究会 ・ 第1回(4月28日、参加者37名) ・ 第2回(2月23日、参加者23名) ・ 第3回(2月24日、参加者22名)	70%

<p>ボランティア活動推進に関する情報交換、情報共有を図るとともに、市町村社協間の連携を深める。</p> <p>⑤ 地域で育む福祉教育推進モデル事業の実施 住民が個々に主体性を育むことで地域の福祉力を高めるモデル事業を実施する。</p> <p>⑥ 生活支援型プラットフォーム推進モデル事業の実施 市町村社協 VC のプラットフォーム機能を強化するための取組を進める。</p> <p>⑦ いわて車いすフレンズ活動の実施 県内の工業高校生、大学生が修理した車いすを、アジア諸国を中心とした国々に寄贈する。</p> <p>⑧ 21世紀スノーバスターズプロジェクトの実施 従来の活動助成金の交付に加え、今後の活動支援の在り方について、情報交換及び検討する機会を設ける。</p> <p>⑨ ホームページによる情報発信 ボランティアセンターのホームページを県民がより利用しやすい内容に一部改修する。</p> <p>[地域福祉企画部]</p>	<p>ボランティア活動推進に関する情報交換、情報共有を図るとともに、市町村社協間の連携を深める。</p> <p>⑤ 地域で育む福祉教育推進モデル事業の実施 住民が個々に主体性を育むことで地域の福祉力を高めるモデル事業を実施する。</p> <p>⑥ 生活支援型プラットフォーム推進モデル事業の実施 市町村社協 VC のプラットフォーム機能を強化するための取組を進める。</p> <p>⑦ いわて車いすフレンズ活動の実施 県内の工業高校生、大学生が修理した車いすを、アジア諸国を中心とした国々に寄贈する。</p> <p>⑧ 21世紀スノーバスターズプロジェクトの実施 従来の活動助成金の交付に加え、今後の活動支援の在り方について、情報交換及び検討する機会を設ける。</p> <p>⑨ ホームページによる情報発信 ボランティアセンターのホームページを県民がより利用しやすい内容に一部改修する。</p>	<p>県内 2 社協</p> <p>県内 1 社協</p> <p>車いす修理台数 30 台</p>	<p>⑤ 地域で育む福祉教育推進モデル事業の実施 ・台風 10 号災害への対応等により、モデル指定社協の選定に至らず、今年度は実施を見送った。 ・平成 29 年度～平成 31 年度は、大船渡市社会福祉協議会及び金ケ崎町社会福祉協議会をモデル指定社協として選定済み。</p> <p>⑥ 生活支援型プラットフォーム推進モデル事業の実施 ・北上市社会福祉協議会をモデル指定（平成 27 年度～平成 29 年度）</p> <p>⑦ いわて車いすフレンズ活動の実施 ・修理技術講習会の実施（6/20）5 校の教諭・生徒他支援社協の職員計 32 名が参加（今年度から千厩高校が新規加入） ・海外への寄贈台数 57 台</p> <p>⑧ 21 世紀スノーバスターズプロジェクトの実施 ・活動助成金の交付（11 市町村） ・情報交換会については、台風 10 号災害への対応等により実施を見送り（平成 29 年度実施予定）</p> <p>⑨ ホームページによる情報発信 ホームページによる情報発信を随時行ったほか、東日本大震災からの復興支援・台風 10 号災害への対応等については、フェイスブックも活用して情報発信を行った。</p>	<p>0%</p> <p>100%</p> <p>190%</p>
<b>(2) 情報発信機能の強化</b>				
<p>機関紙「パートナー」発行事業及び HP 等による情報発信事業</p>	<p>① 機関紙「パートナー」の発行 社会福祉に関する情報や本会をはじめ会員施設や市町村社協の活動紹介など、見やすく分かりやすい機関紙発行に努める。</p> <p>② ホームページによる情報発信 社会福祉関係者はもとより、県民が利用し</p>	<p>アクセス数（年間</p>	<p>○発行回数 6 回</p> <p>○アクセス数 31.9 万回 （平成 27 年度 15.8 万回）</p>	<p>100%</p> <p>213%</p>

[総務部]	やすい内容に充実・改善し、常に新しい情報を提供する。	15万回以上)		
-------	----------------------------	---------	--	--

### 3 福祉人材の養成と確保

事業名	事業概要	達成目標	実績・成果等	達成率
(1) 福祉人材の養成とスキルアップ支援				
社会福祉従事者等研修・資格取得講座 [福祉人材研修部]	社会福祉従事者としての心構えや資質を高めるとともに、現場実践に必要な基礎知識・技術等の向上や国家資格等取得のための講習により、もって県内の質の高い専門的な福祉人材の養成を図る。 ① 福祉従事者新任職員研修会の開催 ② 福祉従事者リーダー職員研修会の開催 ③ 介護支援専門員実務研修受講試験準備講習会 ④ 介護福祉士国家試験受験対策講習会 ⑤ 社会福祉施設リスクマネジメント研修	200名 100名 60名 60名 250名	① 新任職員研修会（7月25～26日）196名（アピオ） ② リーダー職員研修会（9月28～29日）138名（アピオ） ③ 介護支援専門員受験対策講習会（7月28～29日）50名（ふれあいランド岩手） ④ 介護福祉士受験対策講習会（10月11～13日）19名（ふれあいランド岩手） ⑤ リスクマネジメント研修（11月21日）185名（ホテルニューカーリーナ）	98% 138% 83% 31% 74%
介護職員実務者研修通信課程事業 [福祉人材研修部]	介護福祉士国家試験受験に必須となる本研修のスクーリング運営を行う。 (通信課程実施主体は、全国社会福祉協議会中央福祉学院)	50人	○面接授業（介護過程Ⅲ）8月11～12日、8月25～26日、9月8～9日 44名／科目免除者3名 ○演習授業（医療的ケア）9月27～29日 41名／科目免除者6名 ※参加者数47名	94%
介護職員等医療的ケア研修事業	① 介護職員等医療的ケア研修（第一号・第二号）指導者養成講習 介護職員等がたんの吸引等を実施するために受講することが必要な研修（基本研修・実地研修）の講師及びその指導者を養成す	35名（1回）	○講義・演習 平成28年9月12～14日 ○補講 平成28年10月5～6日 ○指導演習	200%

	る。		平成 28 年 10 月 11～13 日、11 月 29～30 日、12 月 1 日のうち 2 日以上 ○修了者：70 名	
	<p>② 介護職員等医療的ケア研修（第一号・第二号研修） 介護施設及び居宅等において、利用者に対し、安全かつ適切に喀痰吸引等の医療的ケアを実施できる介護職員等を養成する。 ※ 盛岡会場と一関会場で開催</p>	300 名 (150 名/回×2 回)	<p>○実務者研修修了者等の実地研修 10 月 26 日～12 月 26 日 受講者：93 名、修了者：91 名</p> <p>○第 1 回基本研修（講義）7 月 4～8 日、8 月 31 日～9 月 2 日（8 日間）会場：アイーナ 第 1 回演習 10 月 11～14 日（4 日間）会場：アイーナ 第 1 回実地研修 10 月 26 日～12 月 26 日 受講者：184 名、修了者：167 名</p> <p>○第 2 回基本研修（講義）7 月 4～8 日、8 月 31～9 月 2 日（8 日間）会場：一関市保健センター 第 2 回演習 11 月 29 日、11 月 30 日、12 月 1 日、12 月 2 日（4 日間）会場：アイーナ 第 2 回実地研修 12 月 10 日～2 月 10 日 受講者：112 名、修了者：103 名</p> <p>○実地研修のみ 受講者：27 名、修了者：14 名</p> <p>○演習・実地研修のみ 受講者：3 名、修了者：2 名</p> <p>○合否判定会議 7 回</p> <p>○実施委員会 2 回</p>	125%
	<p>③ 介護職員等医療的ケア研修事業（第三号研修） 障がい者（児）サービス事業所や居宅において、特定の者を対象に適切に喀痰吸引等を実施できる介護職員等を養成する。</p>	12 人	<p>○受講決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本研修（講義・筆記試験・シミュレーター演習）（11 月 1～2 日）受講者：8 名、修了者：8 名</li> <li>・基本研修修了者による実地研修（11 月 15 日～1 月 15 日）受講者 8 名、修了者 8 名</li> <li>・第 1 回実地研修のみ 受講者：11 名、修了者：11 名</li> <li>・第 2 回実地研修のみ 受講者：4 名、修了者：4 名</li> </ul>	230%

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回実地研修のみ 受講者：5名、修了者：4名</li> <li>・第4回実地研修のみ 受講者：3名、修了者：2名</li> </ul> ○合否判定会議7回 実地研修修了者：28名	
[福祉経営支援部]				
介護福祉士等修学資金貸付事業	介護福祉士又は社会福祉士の資格の取得を目指す学生又は介護福祉士実務者養成施設に在学する方に対し修学資金を貸し付け、その修学を容易にすることにより、介護人材の養成及び確保を図る。(収入要件あり)	<b>【年間貸付可能人数】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士県内養成施設枠 55名</li> <li>・介護福祉士県内出身者枠 2名</li> <li>・介護福祉士県外出身者枠 3名</li> <li>・生活費加算 5名</li> <li>・実務者研修 60名</li> <li>・社会福祉士 3名</li> </ul>	○平成28年度貸付決定者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士 42名</li> <li>内訳：介護福祉士県内養成施設 41名 (うち生活費加算 1名)</li> <li>介護福祉士県内出身者(県外養成施設) 1名</li> <li>介護福祉士県外出身者 0名</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士 9名</li> </ul>	—
[福祉経営支援部]				
社会福祉士及び介護福祉士修学資金貸付事業	介護福祉士又は社会福祉士の資格の取得を目指す学生又は介護福祉士実務者養成施設に在学する方に対し修学資金を貸し付けるとともに、離職者が再就職するための準備に必要な費用を貸し付け、介護人材の養成と確保を図る。(収入要件無し)	<b>【年間貸付可能人数】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養成施設枠 30名</li> <li>・実務者研修 30名</li> <li>・再就職準備金 380名</li> </ul>	○貸付要領の制定、ホームページへの掲載、関係機関への周知、パートナーへの掲載等を実施 ○平成28年度貸付決定者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実務者研修受講資金 16件</li> </ul>	—
[福祉経営支援部]				
保育士修学資金等貸付事業	潜在保育士の再就職のための準備に必要な費用を貸し付け、保育人材の確保を図る。	<b>【年間貸付予定者】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・116名</li> </ul>	○貸付要領の制定、ホームページへの掲載、関係機関への周知、パートナーへの掲載等を実施 ○平成28年度貸付決定者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・再就職準備金 3件</li> </ul>	—
[福祉経営支援部]				
(2) 福祉人材の確保とマッチングの強化				
<b>福祉人材センタ 一運営事業</b>	① 無料職業紹介事業の実施 ○ 求人・求職の仕事に関する職業紹介・相	採用者数 年200人	○無料職業紹介事業の実施 ・求人・求職の仕事に関する職業紹介及び相談業務	

	<p>談業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 求人・求職の登録及び情報提供業務（全国共通「福祉人材情報システム」）</li> <li>○ 求職者情報閲覧機能（スカウトサービス）の実施</li> <li>○ 岩手労働局（ハローワーク）・介護労働安定センター等関係機関・団体との連携</li> <li>○ 雇用関係給付金の取扱業務</li> </ul> <p>② 広報・啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福祉人材センターPRリーフレットの作成</li> <li>○ ホームページによる情報発信</li> <li>○ 求人情報誌・地域情報誌、ラジオCM及びメールマガジン（いわての介護通信）の活用</li> </ul> <p>③ 人材確保・育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福祉の就職総合フェアの開催</li> <li>○ 福祉施設・事業所等の巡回訪問</li> <li>○ 「いわて就職面接会・ガイダンス」（いわてふるさと定住財団主催）への参加</li> <li>○ 岩手労働局等主催ガイダンス等への参加</li> <li>○ 県内各地域（自治体等）で実施している就職ガイダンスへの参加</li> <li>○ 小学校、中学校、高等学校等対象の福祉のしごと紹介事業〔出前講座〕</li> </ul>	<p>参加事業所 35 か所、 参加者 200 名</p> <p>年間 15 校</p>	<p>→ 採用者数：234 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・求人、求職の登録及び情報提供業務（全国共通「福祉人材情報システム」）</li> <li>・新求職者情報閲覧機能（スカウトサービス）の利用促進</li> <li>・岩手労働局（ハローワーク）・介護労働安定センター等関係機関・団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用関係給付金の取扱業務</li> </ul> </li> </ul> <p>○ 広報・啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉人材センターPRのリーフレット作成（5,000 部）</li> <li>・ホームページによる情報発信（随時）</li> <li>・求人情報誌・地域情報誌、ラジオCM及びメールマガジン（いわての介護通信）の活用</li> </ul> <p>○ 人材確保・育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉の就職総合フェア実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>第 1 回（7 月 9 日、参加事業所 36、参加者 98 名）</li> <li>第 2 回（10 月 16 日、参加事業所 35、参加者 62 名）</li> </ul> </li> <li>・福祉施設、事業所等の巡回訪問（2 月実施）</li> <li>・「いわて就職ガイダンス」（4 月 9 日）、「いわて就職面接会」（6 月 4 日・7 月 20 日・10 月 7 日・12 月 8 日）参加</li> <li>・ハローワーク主催「福祉の仕事就職フェア」（11 月 16 日）参加</li> <li>・県内各地域（自治体等）で実施している就職ガイダンス参加</li> <li>・出前講座（14 校 588 名）</li> <li>・県立大学（6 月 14 日・2 月 28 日）、盛岡医療福祉専門</li> </ul>	117%
--	---	--	--	------

<p style="text-align: center;">(新)</p> <p>[福祉人材研修部]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福祉養成施設・学校（専門学校、短大、大学）への出張説明会</li> <li>④ 会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福祉人材センター運営委員会の開催</li> <li>○ 福祉人材養成関係機関等連絡会議の開催</li> <li>○ 北海道・東北ブロック福祉人材センター連絡会議への参加</li> </ul> </li> <li>⑤ 離職した介護福祉士等届出システムの整備・運用準備</li> </ul>		<p>学校（1月26日・3月1日）、大原学園専門学校盛岡校（2月15日）、北日本医療福祉専門学校（2月17日）、盛岡社会福祉専門学校（2月27日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回福祉人材センター運営委員会の開催（7月4日）</li> <li>・第2回福祉人材センター運営委員会の開催（3月2日）</li> <li>・福祉人材養成関係機関等連絡会議の開催（8月3日）</li> <li>・北海道・東北ブロック福祉人材センター連絡会議（12月8～9日 宮城県）</li> </ul> </li> </ul>	
<p><b>介護人材マッチング支援事業</b></p> <p>[福祉人材研修部]</p>	<p>キャリア支援員を配置し介護の人材確保・定着を図るため、求職者への相談支援や福祉施設・事業所への助言等のマッチング支援事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内5圏域にキャリア支援員7名を配置し求人求職マッチングを実施</li> <li>○ ハローワーク、ジョブカフェ等での定期出張相談の実施</li> <li>○ 情報紙「エール」の発行</li> <li>○ 介護のしごと体験事業</li> <li>○ 介護職再就職支援講座</li> <li>○ 就労支援ミニ講座</li> <li>○ 小規模事業所面談会</li> <li>○ 小規模事業所合同研修会</li> </ul>	<p>マッチング数 100名 求職相談者数 1,000名</p> <p>7月・12月発行 80件（就職率50%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求人求職マッチング <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチング数 295名</li> <li>・求職者相談数 1,977名</li> <li>・事業所訪問数 523か所</li> <li>・関係機関訪問数 976か所</li> </ul> </li> <li>○定期出張相談 <ul style="list-style-type: none"> <li>県内24か所で定期・出張相談会を開催 相談件数 1,358件</li> </ul> </li> <li>○情報誌の発行 年間2回発行（1,300部×2回）</li> <li>○介護のしごと体験事業 体験者 55名（介護施設への就職 35名 63.6%）</li> <li>○介護職再就職支援講座 7回開催（48名）</li> <li>○就労支援ミニ講座 6回開催（33名）</li> <li>○小規模事業所面談会 7回開催（67事業所 184名）</li> <li>○小規模事業所合同研修会 県内27開催（252事業所、424名）</li> </ul>	<p>295% 197%</p>
<p><b>保育士・保育所支援センター保育士人材確保事業</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 求職求人に係るコーディネーターを配置し求人求職マッチングを実施</li> <li>○ 相談支援（同行見学を含む。）、求職・求人登録、保育所巡回訪問及び保育の職場見学</li> </ul>	<p>年間求人登録数80件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マッチング115名（紹介状69名、自己応募等46名） 相談支援1,187件（潜在保育士440、その他保育士104、保育園等643） 求人登録378名（192件）</li> </ul>	<p>240%</p>



	<p>会の実施</p> <p>② 広報・周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報誌等への掲載</li> </ul> <p>③ 説明会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合フェア保育コーナーでの就職説明会</li> <li>○ 養成機関等での就職説明会</li> </ul> <p>④ 研修による保育士人材の確保や質の向上及び定着促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新任保育士（就業継続支援）研修</li> <li>○ 潜在保育士再就職支援研修</li> </ul>	<p>年間求職登録者数 50名</p>	<p>求職登録 165名</p> <p>岩手日報・マシェリ等掲載 9回、保育所巡回訪問 37か所、市町村担当課訪問 7か所、研修会等（事業説明）1回、同行見学 3件</p> <p>保育の職場見学会 4回、計 23名参加</p> <p>ほいくしカフェ 3回、計 30名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合フェアにて相談コーナー設置。就職説明会（岩手県立大学）</li> </ul>	<p>330%</p>
[福祉人材研修部]		<p>研修参加者 100名</p> <p>研修参加者 40名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新任保育士就業継続支援研修（106名）</li> <li>○ 潜在保育士再就職支援研修（20名）</li> </ul>	<p>106%</p> <p>50%</p>
<b>(3) 退職共済制度の適正運営と福利厚生事業の強化</b>				
民間社会福祉事業職員共済事業	<p>財政運営の健全化</p> <p>積立水準回復計画に基づき責任準備金率を改善するとともに、共済契約者及び会員に対し財政状況等を定期的に報告し、共済事業の安定的な運営を図る。</p>	<p>責任準備金率 73.0%</p>	<p>○積立水準回復計画を共済契約者及び会員に対し周知するとともに財政状況等を定期的に報告</p> <p>※責任準備金率 71.00%</p> <p>（平成 27 年度末：71.13%）</p>	<p>97%</p>
[総務部]				
福利厚生センター受託事業	<p>① 会員の拡大</p> <p>未加入事業所への加入の働きかけを強化し、加入事業所数（人数）の拡大を図る。</p> <p>② 新規事業の開発</p> <p>スキルアップを目的とした事業はじめ、魅力ある事業を開発し、会員の福利厚生の充実を図る。</p>	<p>2 事業所（30 名）以上</p>	<p>○未加入事業所に加入の働きかけを行い、加入事業所数（人数）の拡大を図った。</p> <p>・実績：1 法人 3 事業所（36 名）</p>	<p>150%</p> <p>—</p>
[総務部]		<p>新規メニュー1 事業以上の開発</p>		

#### 4 社会福祉事業経営の支援

事業名	事業概要	達成目標	実績・成果等	達成率
(1) 社会福祉事業経営の支援				

<p><b>社会福祉経営サポート事業</b></p> <p style="text-align: center;">(新)</p> <p>[福祉経営支援部]</p>	<p>社会福祉法人の健全な経営と役職員の資質向上の支援及び社会福祉事業者による社会貢献活動の実施の推進を図るほか、経営協との連携の下、制度での対応が難しい福祉諸課題解決のための活動の検討等を行う。</p> <p>① 法改正研修会 ② 地域公益活動推進セミナー ③ 公益的取組等アンケート調査</p>	<p>参加者 150 名 参加者 150 名 回収率 80%以上</p>	<p>○ 参加者 96 名 ○ 参加者 113 名 ○ 回収率 54.5%</p>	<p>64% 75% 68%</p>
<p><b>いわて障がい者就労支援振興センター運営事業</b></p>	<p>沿岸部障がい者就労支援事業所の業務受注の確保や流通販路の確保・拡大を図ることにより当該地域の障がい者就労支援事業所の復興に寄与することを目的に事業を実施する。</p> <p>① 職員体制 5 名 (統括 1、コーディネーター 4 名)</p> <p>② 沿岸被災地の事業所の運営体制の安定化、商品力向上、販路拡大や新規立上げに向けた支援</p> <p>○ アドバイザー派遣による事業所個別支援 食品及び商品のデザイン及び経営（中小企業診断士、社会保険労務士等）アドバイス</p> <p>○ 事業所の課題に対応する事業所単位等の研修会の開催</p> <p>○ 沿岸事業所と内陸事業所のジョイント又はコラボレーションによる商品開発や共同生産、生産力向上の支援</p> <p>③ 企業、官公庁及び消費者に対する事業所製品及び請負作業の受注の支援</p> <p>④ 事業所製品の P R、販売イベントの企画及び</p>	<p>21 回      12 回</p>	<p>○アドバイザー派遣回数 24 回</p> <p>○研修会開催回数 15 回</p> <p>○内陸事業所と沿岸事業所との連携による商品開発（レトルトカレー、菓子など）</p> <p>○希望郷いわて国体の大会販売への参加（2 事業所）（社福） 修倫会ギフト商品の販売促進支援及び国際福祉機器展参加者配布用ノベルティー採用への橋渡し</p> <p>○イベント販売回数 38 回</p>	<p>114%      125%</p>

[福祉経営支援部]	<p>情報提供</p> <p>⑤上記②～④を実施するために必要な調査及び課題把握</p>		<p>○沿岸部障がい者就労支援事業所の自主生産商品販売及び 役務・請負作業受託状況調査の実施</p> <p>○沿岸部事業所個別支援計画策定済み事業所 45 事業所</p>	
<p><b>共同受注センター 運営事業</b></p>	<p>県内障がい者就労支援事業所の利用者が将来的に地域で自立した生活を営むことができるよう、工賃の拡大による所得の確保を進めることを目的に、事業を実施する。</p> <p>① 障がい者就労支援事業所商品の販売活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 希望郷いわて国体・大会での販売活動の推進</li> <li>○ 県内大手スーパー等での販売活動の推進</li> <li>○ 県外企業等への商品販売の推進</li> </ul> <p>② 障がい者就労支援事業所による役務の受注拡大の促進</p> <p>③ ホームページを活用した参加事業所商品の情報提供の推進</p> <p>④ 参加事業所間の連携の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業所間コラボ商品の開発</li> </ul> <p>⑤ 共同受注窓口事業運営委員会の開催</p>	<p>取扱売上高 2,000 万円以上</p> <p>年 1 商品の開発</p> <p>年 2 回開催</p>	<p>○ 取扱売上高 31,255,681 円</p> <p>○ 手数料収益 654,272 円 (国体等販売、役務・請負受託、カタログ販売含) 県社協取扱い販売分：6,245,242 円 手数料収入：625,714 円</p> <p>※ 県社協取扱い外事業所販売分（露店販売） 5,432,358 円</p> <p>○28 年度の新規企画商品なし。</p> <p>○27 年度からの継続商品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・釜石の橋野鉄鋼山クッキー（かまいしワークステーション&amp;えさしふれあい工房）4 枚入 707 箱 381,780 円、 10 枚入 3,023 箱、3,264,840 円</li> <li>・黄色いトマトのレトルトカレー（イーハトーブとりもと&amp;就労支援センタールンビニー※レシピ製作）の販売促進 3,083 袋、654,873 円</li> </ul> <p>○ 第 1 回（6 月 14 日）</p>	<p>156%</p> <p>-</p> <p>150%</p>

[福祉経営支援部]			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2回 (12月26日)</li> <li>○ 第3回 (3月14日)</li> <li>○ 共同受注窓口事業先進地視察 (3月9日～10日) 訪問先：福井県セルフ振興センター 福井県社会就労センター協議会 訪問者：共同受注窓口事業運営委員会久保田委員長、利府副委員長、事務局1名</li> </ul>	
<b>(2) 適正なサービス評価の実施</b>				
福祉サービス第三者評価事業	福祉サービスの質を客観的かつ専門的に第三者が評価することによってサービスの質の向上を目指す経営者を支援する。			
[福祉経営支援部]	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 受審事業所数</li> <li>② 事務局体制の強化及び業務方法の標準化を図り迅速に業務遂行</li> <li>③ 県指定評価調査者養成研修</li> <li>④ 県指定評価調査者継続研修</li> <li>⑤ 評価調査者スキルアップ研修</li> <li>⑥ 受審事業者自己評価研修</li> <li>⑦ 受審結果報告会の実施</li> <li>⑧ 社会的養護等施設評価調査者の養成・継続研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>15 か所</li> <li>養成数6名</li> <li>40名</li> <li>25名</li> <li>60事業所</li> <li>15か所</li> <li>養成1名、研修3名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成28年度の受審事業所数 15か所</li> <li>○7月の5日間 受講者13名 (登録可能者13名)</li> <li>○県指定評価調査者継続研修未実施</li> <li>○7/18～19：参加者25名、10/15：参加者27名</li> <li>○7月5～6日 参加者44事業所等 50名</li> <li>○受審結果報告会の実施 (13か所)</li> <li>○社会的養護等施設評価調査者の養成1名、継続研修2名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>100%</li> <li>216%</li> <li>-</li> <li>104%</li> <li>73%</li> <li>87%</li> <li>75%</li> </ul>

## 5 多様な組織等との連携協働

事業名	事業概要	達成目標	実績・成果等	達成率
<b>(1) 種別協議会・部会活動を通じた福祉サービス向上の取組とサービス利用者の福祉増進</b>				
市町村社会福祉協議会部会事業(再)	(1ページ参照)			

<p>種別協議会活動推進事業</p> <p>[福祉経営支援部]</p>	<p>事業種別を単位とした連絡協議、調査研究、研修等を行うとともに関係機関団体とのネットワークを築くことにより、会員である社会福祉法人及び施設・事業所が地域における多様な福祉ニーズに適切に対応できるよう組織事務を担う。</p> <p>また、各協議会中期活動ビジョンの見直しを図り、活動を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会福祉法人経営者協議会</li> <li>○ 高齢者福祉協議会</li> <li>○ 障がい者福祉協議会</li> <li>○ 保育協議会</li> <li>○ 児童福祉施設協議会</li> <li>○ 児童館・放課後児童クラブ協議会</li> </ul>		<p>各種別協議会の事業計画に基づき、おおむね予定どおりに進んでいる。</p>	<p>—</p>
<p>(2) 多様な組織等との連携協働の推進</p>				
<p>介護等体験受入調整事業</p> <p>[福祉経営支援部]</p>	<p>教員免許の取得を目指す大学生の介護等体験を介護施設等に斡旋し調整を図る。</p>	<p>調整人員 475 名 受入施設 70 か所</p>	<p>○体験決定人員 426 名 ・体験終了者 413 名、体験辞退・中止者 13 名 ・受入施設 79 か所</p>	<p>—</p>
<p>事務受託団体支援事業</p> <p>[福祉人材研修部]</p> <p>[福祉経営支援部]</p>	<p>事務を受託している 12 の団体の適正な運営と事業の促進に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般社団法人岩手県介護福祉士会</li> <li>○ 岩手県介護支援専門員協会</li> <li>○ 岩手県ホームヘルパー協議会</li> <li>○ 岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会</li> <li>○ 岩手県知的障害者福祉協会</li> <li>○ 岩手県知的障害児者生活サポート協会</li> <li>○ 東北地区社会就労センター協議会</li> </ul>		<p>各団体の事業計画に基づき、おおむね予定どおりに進んでいる。</p>	<p>—</p>

[地域福祉企画部]	○ 東北7県児童館連絡協議会 ○ 北海道・東北ブロック保育協議会 ○ 岩手県里親会			
[総務部]	○ 東北地区里親連絡協議会 ○ 公益財団法人岩手県福祉基金			

## 6 指定管理施設の管理運営

事業名	事業概要	達成目標	実績・成果等	達成率
<b>ふれあいランド岩手管理運営事業</b>	<p>これまでの経験と蓄積されたノウハウを最大限に生かし、効率的な運営と魅力ある事業の企画実施に努めながらサービスの向上と安全性の高い堅実な施設運営を行っていく。</p> <p>① 教室の開催 障がい者・高齢者等を中心としたスポーツ・文化教室（講座）を開催する。</p> <p>② イベントの開催 施設利用者、地域住民との交流を促進する「ふれあいランド祭」等各種イベントを開催する。</p> <p>③ 支援事業の実施 障がい者団体・高齢者団体等へのスポーツ指導や移動教室など出前事業を実施する。また、ふれあいランド岩手を利用する障がい者等のニーズに合わせ運動を行う。</p> <p>④ ボランティアの養成等 ふれあいランド岩手を活動拠点とするボランティアの養成講座を開催するとともに、活動の場の提供等により取組の活発化を助長する。</p> <p>⑤ 全国障がい者スポーツ大会卓球バレー競技</p>	<p>総利用者数 245,000名 (内訳) 一般(学生含む) 124,000名 高齢・障がい者 108,000名 その他 13,000名</p> <p>開館以来の累計数 4,708,000名</p>	<p>[目標に対する進捗状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総利用者数 <u>264,474名</u> (進捗率 107.9%)</li> <li>内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般(学生含む) 123,938名 (99.9%)</li> <li>高齢者・障害者 126,788名 (117.4%)</li> <li>その他 13,748名 (105.8%)</li> </ul> </li> <li>開館以来の累計数 <u>4,763,746名</u> (進捗率 101.2%)</li> </ul> <p>[事業への取組状況]</p> <p>①教室の開催 各種水泳教室や親子工作教室等を延べ415回開催</p> <p>②イベントの開催 ふれあいランド祭 2016 (9月4日、17,954名参加) ふれあいフェスタ 2016 (12月17日、1,820名参加)など、13回開催</p> <p>③支援事業の実施 これまで延べ198回の団体指導の他、977回の個人指導を実施</p> <p>④ボランティアの養成 初心者手話教室10回、ボランティア養成講座2回開催</p> <p>⑤全国障がい者スポーツ大会卓球バレー競技の開催</p>	<p>107%</p> <p>99%</p> <p>117%</p> <p>105%</p> <p>101%</p>

(新)	<p>の開催 ふれあいランド岩手を会場として開催される卓球バレー競技を円滑に運営する。</p>		<p>10月23日(日)ふれあいランド岩手において開催 チャレンジクラス 24 チーム、わんこクラス 16 チーム が参加</p>	
[ふれあいランド岩手]				

## 7 県社協の活動基盤の強化

事業名	事業概要	達成目標	実績・成果等	達成率
<p>県社協財政基盤の 適正化</p> <p>[総務部]</p>	<p>① 自主財源の確保 県社協本来の使命や役割を認識し、地域福祉の推進に結びつく新たな事業の開発などのため、多様な自主財源を確保する。</p> <p>② 経費の削減 職員によるカイゼン運動を通じて事業費及び事務費の削減を図る。</p>	<p>対前年度比 5%増</p> <p>対前年度比 2%減</p>	<p>○前年度に協賛金の協力を得た企業・団体を含め約 400 の企業・団体に対し、協賛金を募った。</p> <p>・実績 249 件 2,570 千円 (平成 27 年度実績 228 件 2,443 千円)</p>	<p>105%</p> <p>—</p>
<p>組織強化のための 取組の推進</p> <p>[総務部]</p>	<p>① 会員の拡大 会員規程を見直し、組織構成の幅を拡大するとともに、細分化する福祉施設への対応と会員の拡大を図る。</p> <p>② 適切な事務執行 内部監査人による監査を実施し、内部牽制による適切な事務執行体制を確立する。</p> <p>③ 職員の資質向上 職員研修計画に基づき職員研修を実施するとともに、社会福祉士等資格取得を奨励し職員の資質向上を図る。</p> <p>④ 活動計画の進行管理 活動計画の実施状況を点検・評価し期間内での目標達成を図る</p>	<p>会員規程の見直し及び改正</p> <p>資格取得者 1 名増</p>	<p>○会員規程の見直しを検討するとともに、会員の拡大を図った。</p> <p>・実績 12 施設団体 (新規入会)</p> <p>○内部監査人による監査を実施し、適切な事務執行体制の確立に努めた。</p> <p>・実績 3 回 (実施回数)</p> <p>○平成 28 年度に資格を取得した職員 3 名 (社会福祉士 2 名、精神保健福祉士 1 名)</p> <p>○理事会及び評議員会で事業の実施状況を報告するとともに活動計画の実施状況の点検を実施</p>	<p>—</p> <p>100%</p> <p>300%</p> <p>—</p>

### Ⅲ 事業報告

#### 1 県民の生活課題の解決

##### (1) 生活課題を抱える住民の支援

###### ① 社協・生活支援活動強化方針推進事業 [地域福祉企画部]

研究会の開催

###### ア 生活困窮者相談研究会

期日、会場、参加者：1月25日、ホテル大観、16名

内容：生活困窮者相談に関する講義、事例検討

###### イ 介護保険制度改正に関する研究会

生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーター配置が進んでいないため未実施

###### ウ 法人改革研究会

###### (ア) 第1回法人改革研究会

期日、会場、参加者：9月7日、ふれあいランド岩手、39名

内容：社会福祉法人制度改革に関する説明、情報交換

###### (イ) 第2回法人改革研究会

期日、会場、参加者：11月28日、ふれあいランド岩手、48名

内容：社会福祉法人制度改革への対応とアンケート調査に関する説明、事前質問に対する全体会、質疑応答

###### (ウ) 社会福祉法人制度改革に関する相談会

期日、会場、参加者：11月30日、ふれあいランド岩手、8名（4社協）

相談内容：定款変更等に関する個別相談

###### エ 地域福祉活動計画策定に関する研究会

###### (ア) 第1回地域福祉活動計画策定に関する研究会

期日、会場、参加者：7月21日、久慈市総合福祉センター、11名

内容：地域福祉活動計画策定に関する講義、説明、策定に向けた情報交換

###### (イ) 第2回地域福祉活動計画策定に関する研究会

期日、会場、参加者：8月9日、北上市総合福祉センター、14名

内容：地域福祉活動計画策定と評価に関する講義、説明、策定と評価・検証に関する情報交換

###### ② 生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業 [地域福祉企画部]

(盛岡圏域生活困窮者自立相談支援事業)

###### ア 相談件数等

(ア) 新規相談 222件

(イ) 支援対象 106件

(ウ) プラン作成 56件

(エ) 就職者数（増収者含む） 24名



イ 支援調整会議の開催

会場：県央5町（雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町）の社協、町役場会議室等  
内容：自立支援プランの適切性及び終結評価等の協議。

出席者：盛岡広域振興局保健福祉環境部保護課、各町生活保護担当課、地域包括支援センター、町社協、県社協等（ケースに応じて随時関係機関の参集範囲を変更）

期日：

（雫石町）5月7日、7月19日、9月2日、9月27日、1月13日、3月10日

（葛巻町）8月29日、2月28日

（岩手町）6月3日、8月5日、11月4日、1月18日

（紫波町）5月16日、6月14日、7月12日、8月9日、9月13日、10月11日  
11月15日、1月11日、2月14日、3月14日

（矢巾町）5月2日、6月1日、7月4日、8月1日、9月1日、10月4日、11月1日、  
12月7日、1月10日、2月1日、3月1日

ウ 生活困窮者自立支援連絡会議（支援調整会議と併せて開催）

ケース検討、中間的就労に関する情報交換等を実施

エ 矢巾町自殺予防ネットワーク会議（支援調整会議と併せて開催）

矢巾町からの自殺対策等に関する情報提供を出席者間で共有

③ 岩手県福祉コミュニティサポートセンター事業 [地域福祉企画部]

ア CSWの養成と資質向上

（ア） 地域福祉活動コーディネーター（CSW）養成研修会

期日、会場、参加者：前期8月2日～3日、岩手県水産会館、65名

後期11月11日～12日、ふれあいランド岩手、64名

内容：コミュニティソーシャルワークの基本概念、個別課題・地域課題へのアセスメント、地域共通ニーズの抽出、プランニングに関する講義及び演習

（イ） 地域福祉活動コーディネーター（CSW）養成研修 提出課題勉強会

期日、会場、参加者：9月23日、ふれあいランド岩手、11名

9月26日、北上市総合福祉センター、10名

内容：CSW養成研修受講者が各自作成したプランニングの意見交換

（ウ） 地域福祉活動コーディネーター（CSW）継続研修会

期日、会場、参加者：11月29日、ふれあいランド岩手、13名

内容：地域福祉活動コーディネーター（CSW）の役割の活用に係る講義、持ち寄った取組シートによる事例検討

イ CSWの実践にかかる地域アセスメント手法の習得

（ア） 支え合いマップ・インストラクター養成講座

期日、会場、参加者：第1回6月20日～21日、青葉ビル、30名

第2回7月21日～22日、岩手県釜石地区合同庁舎、29名

第3回10月13日、岩手県釜石地区合同庁舎、28名

内容：支え合いマップの基礎知識の講義、支え合いマップづくり実践に向けた演習、

演習結果を基にした地域の生活課題及び解決策の整理等にかかる意見交換

(イ) 支え合いマップを活用した取組検討会

期日、会場、参加者：3月29日、ふれあいランド岩手、21名

内容：支え合いマップを活用した取組事例の紹介及び検討、支え合いマップの取組に係る情報交換

ウ 福祉コミュニティの確立に向けた体制づくりの支援

(ア) 福祉コミュニティサポートアドバイザー派遣

a 高齢者総合相談センターふじさわ

実施日：7月19日、2月28日

支援内容：住民主体サロンの設立及び運営に係る助言、県内他地区の先進的なサロン活動の視察における説明及び助言

b 岩泉町社会福祉協議会

実施日：8月22日

支援内容：岩泉町社協活動計画の見直しへの助言

c 滝沢市地域包括支援センター

実施日：2月15日、2月21日

支援内容：滝沢市生活支援体制整備事業の第1層の協議体におけるグループワークの進行及び助言

d 地域生活支援センター・カシオペア

実施日：2月20日

支援内容：障がい者相談支援事業従事者を対象とした研修講師

e 滝沢市社会福祉協議会

実施日：3月6日

支援内容：滝沢市社協地域福祉活動計画の評価及び見直しへの助言

f 二戸地区社協連絡会

実施日：3月6日

支援内容：相談支援従事者等を対象とした研修講師

④ 市町村社会福祉協議会部会事業 [地域福祉企画部]

ア 研究会の開催 (再掲)

(ア) 生活困窮者相談研究会

期日、会場、参加者：1月25日、ホテル大観、16名

内容：生活困窮者相談に関する講義、事例検討

(イ) 介護保険制度改正に関する研究会

生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーター配置が進んでいないため未実施

(ウ) 法人改革研究会

a 第1回法人改革研究会

期日、会場、参加者：9月7日、ふれあいランド岩手、39名

- 内容：社会福祉法人制度改革に関する説明、情報交換
- b 第2回法人改革研究会  
 期日、会場、参加者：11月28日、ふれあいランド岩手、48名  
 内容：社会福祉法人制度改革への対応とアンケート調査に関する説明、事前質問に対する全体会、質疑応答
- c 社会福祉法人制度改革に関する相談会  
 期日、会場、参加者：11月30日、ふれあいランド岩手、8名（4社協）  
 相談内容：定款変更等に関する個別相談
- (エ) 地域福祉活動計画策定に関する研究会
- a 第1回地域福祉活動計画策定に関する研究会  
 期日、会場、参加者：7月21日、久慈市総合福祉センター、11名  
 内容：地域福祉活動計画策定に関する講義、説明、策定に向けた情報交換
- b 第2回地域福祉活動計画策定に関する研究会  
 期日、会場、参加者：8月9日、北上市総合福祉センター、14名  
 内容：地域福祉活動計画策定と評価に関する講義、説明、策定と評価・検証に関する情報交換
- イ 役職員研修会
- (ア) 新任職員研修  
 期日、会場、参加者：6月27日～28日、ふれあいランド岩手、36名  
 内容：社会福祉協議会の基礎知識に関する説明、先輩職員による活動事例紹介、グループ情報交換、講演
- (イ) 地域福祉活動先進地視察研修  
 期日、視察先、参加者：8月29日～31日、札幌市社会福祉協議会、15名  
 内容：組織概要、中期経営計画、事業概要、新たな制度への対応に関する説明
- (ウ) 市町村社会福祉協議会部会トップセミナー  
 期日、会場、参加者：1月25日、ホテルルイズ、50名  
 内容：チームマネジメント、社会福祉法人制度改革と社会福祉協議会をめぐる動向、いわておげんきみまもりシステムに関する講義と、県内市町村社協の新たな取組活動報告
- ウ 地域福祉活動計画策定委員会の開催
- (ア) 第1回委員会  
 期日、会場、参加者：6月7日、ふれあいランド岩手、10名  
 内容：委員長の選任、地域福祉活動計画の策定・見直しに向けた支援方法の検討
- (イ) 第2回委員会  
 期日、会場、参加者：8月9日、北上市総合福祉センター、9名  
 内容：久慈地区及び北上地区での研究会の振り返り、今後の市町村社協に対する個別支援
- (ウ) 第3回委員会  
 期日、会場、参加者：3月23日、ふれあいランド岩手、7名

内容：地域福祉活動計画未策定社協の状況と今後の支援

(エ) 委員による未策定社協個別訪問

10月～11月に実施予定だったが、台風10号災害対応で未実施となり、2月に計画未策定の10社協に現在の取組状況等を電話確認。

・平成28年度末での地域福祉活動計画の策定状況

平成28年度は、新たに釜石市社会福祉協議会、岩手町社会福祉協議会、野田村社会福祉協議会が地域福祉活動計画を策定した。

この結果、県内33市町村社協中、地域福祉活動計画を策定済みの社協は26市町村社協、未策定は7市町村社協となった。

⑤ いわて“おげんき”みまもりシステム管理運営及び普及拡大事業

[地域福祉企画部]

ア ICT技術を活用した安否確認システムの導入推進

[平成28年度見守りセンター設置社協等] 26市町村社協、33センター

盛岡市、宮古市(川井)、大船渡市、花巻市(本所・石鳥谷・東和・大迫)、北上市、久慈市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市(本所・浄法寺)、八幡平市、奥州市(江刺)、雫石町、岩手町、滝沢市、紫波町、矢巾町、西和賀町、平泉町、住田町、大槌町、軽米町、野田村、九戸村、洋野町(本所・大野)、一戸町、流通センター不動産、岩手県

イ システム登録者数

1,103人

ウ システム運用定例会議の開催(システム開発企業イワテシガ㈱・県社協)

開催日、会場：4月7日、5月11日、6月8日、7月6日、8月10日、9月7日、10月5日、11月9日、12月7日、1月11日、2月8日、3月7日、ふれあいランド岩手

⑥ 生活福祉資金貸付事業 [地域福祉企画部]

ア 貸付実績及び償還実績

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立や生活意欲の助長等を図り、より安定した生活を送るため、必要な資金の貸付けと相談支援を行った。

事業の推進に当たっては、平成27年4月に生活困窮者自立支援制度が施行されたことを踏まえ、自立相談支援機関、市町村社協、関係機関等と連携した相談・支援を行い、県民の自立生活の助長に向けた取組を進めた。

(ア) 生活福祉資金貸付事業

a 総合支援資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数は1,292件、貸付中金額605,083千円で、この内償還が延滞している件数は1,006件(77.9%)。最終償還期限が到来しているが償還完了していない件数は143件(11.1%)

【平成 28 年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	49 件	47 件
金 額	10,849 千円	10,378 千円

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
生活支援費	36 件	9,810 千円
住宅入居費	0 件	0 千円
一時生活再建費	11 件	568 千円
合 計	47 件	10,378 千円

(b) 償還実績

償還金は 33,320 千円、対前年度比 5,326 千円減、償還完了件数は 68 件。償還率は年度合計 14.2%で、対前年度比 4.6%減。

b 福祉資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数は 3,031 件、貸付中金額 725,249 千円で、この内償還が延滞している件数は 2,171 件（71.6%）。最終償還期限が到来していながら、償還が完了していない件数は 1,787 件（59.0%）

【平成 28 年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	424 件	413 件
金 額	90,864 千円	89,219 千円

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
福祉資金	137 件	67,386 千円
緊急小口資金	276 件	21,833 千円
合 計	413 件	89,219 千円

(b) 償還実績

償還金は 108,493 千円、対前年度比 443 千円減、償還完了件数は 449 件。償還率は年度合計 30.6%で、対前年度比 0.4%増

c 教育支援資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数は 6,353 件、貸付中金額 4,417,316 千円で、この内償還が延滞している件数は 1,705 件（26.8%）。最終償還期限が到来していながら、償還が完了していない件数は 380 件（6.0%）

【平成 28 年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	619 件	564 件

金額	599,243 千円	548,272 千円
----	------------	------------

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件数	金額
教育支援費	314 件	457,974 千円
就学支度費	250 件	90,298 千円
合計	564 件	548,272 千円

(b) 償還実績

償還金は 231,014 千円、対前年度比 15,733 千円増、償還完了件数は 151 件。償還率は年度合計 52.6%で、対前年度比 1.0%減

d 不動産担保型生活資金

平成 28 年度の新規貸付決定は 6 件 34,902 千円。貸付中債権の状況は次のとおり

資金種	貸付中件数	貸付限度額の合計	備考
一般	7 件	88,172 千円	平成 14 年度創設
要保護世帯向け	48 件	254,086 千円	平成 19 年度創設
合計	55 件	342,258 千円	

(イ) 離職者支援資金貸付事業(平成 12 年度創設/平成 21 年 9 月廃止)

a 貸付実績

年度末での貸付状況は、貸付中件数が 38 件、貸付中金額 20,742 千円で、この内償還が延滞している件数は 33 件 (86.8%)。最終償還期限が到来していながら、償還が完了していない件数は 30 件 (78.9%)

b 償還実績

償還金は 4,340 千円で対前年度比 1,721 千円増、償還完了件数は 2 件  
償還率は、年度合計 17.9%で対前年度比 7.5%増

(ウ) 臨時特例つなぎ資金貸付事業(平成 21 年度創設)

a 貸付実績

年度末での貸付状況は、貸付中件数が 8 件、貸付中金額 443 千円。このうち償還が延滞している件数は 8 件 (100%)、最終償還期限が到来していながら、償還が完了していない件数は 8 件 (100%)

【平成 28 年度の申請及び貸付決定状況】

区分	申請	決定
件数	1 件	1 件
金額	100 千円	100 千円

b 償還実績

償還金は 64 千円で対前年度比 34 千円増、償還完了件数は 0 件。償還率は年度合計 12.6%で、対前年度比 5.8%増

イ 事業運営

(ア) 生活福祉資金貸付事業担当職員研修会

期日、会場、参加者：6 月 9 日～10 日、ふれあいランド岩手、81 名

内容：生活福祉資金貸付と生活困窮者自立相談支援機関が連携した事例検討及び制度

説明、相談支援の知識・技術向上を目的とする講義等

(イ) 市町村社協、市町村民児協、関係機関・団体等が開催する研修会等への職員派遣

6月2日、2月21日

岩手県社協・経営者協議会主催「あんしんサポート相談員養成研修」

6月17日 北上市社協職員研修会における制度説明

2月21日 奥州市社協職員研修会における制度説明

(ウ) 関係機関との連携

a 会議出席

6月14日 岩手県生活保護受給者等就労自立促進事業協議会：県協議会  
(岩手労働局主催)

6月29日 刑務所出所者等地域生活定着支援連絡協議会（盛岡保護観察所主催）

2月1日 岩手県多重債務者対策連絡会議（岩手県環境生活部主催）

3月3日 被災三県特例貸付情報交換会（仙台市）

b 相談員派遣

7月9日、9月10日、12月10日、3月4日

「お金とくらしの安心合同相談会」（消費者信用生活協同組合主催）

(エ) 償還指導の実施及び債権管理

a 償還指導の実施

4か月以上の滞納者及び延滞利子発生者等に対する個別面接と、市町村社協の事務  
に関して指導を行った。

・償還指導実施市町村社協数 25市町村社協・35か所（支部含む）

・状況確認延べ件数 395件

・事務指導実施市町村社協数 25か所（本所のみ）

b 住所地調査

所在不明の借受人等の住所地調査を実施した。調査対象者は974名

c 弁護士の助言指導

畠山将樹弁護士(貸付審査等運営委員会専門委員)から、償還困難な債権に対する対応  
及び債権管理方法等に対する助言を得た。

(オ) 貸付審査等運営委員会の開催

生活福祉資金貸付審査等運営委員会小委員会（開催回数2回）

・償還猶予審査 19件（承認19件）

(カ) 県民への広報活動

制度周知のため、全体版パンフレット・教育支援資金リーフレットを各15,000部追  
加作成し、関係機関、関係団体へ配付した。教育支援資金リーフレットは、中学校、高  
等学校、大学、専門学校等教育機関へも配付した。

⑦ 成年後見推進支援事業 [地域福祉企画部]

ア 法人後見等を行う団体の育成支援事業

・各団体からの照会に対する助言及び情報提供

- ・各市町村社協の取組（予定）を調査
- イ 成年後見推進研修事業
  - <成年後見申立支援講座>
    - 期日、会場、参加者：2月16日、アイーナ、130名
    - 内容：講義/裁判所における成年後見制度の利用の現状と手続等について、講義・事例発表/市町村長申立ての実務等について
  - <成年後見人養成・制度普及研修会>
    - 期日、会場、参加者：2月28日、ふれあいランド岩手、92名
    - 内容：講演/成年後見制度の課題と展望～地域生活の安全・安心を創造するために～、成年後見制度の充実を目指す取組

⑧ 障がい者不利益取扱い解消支援事業[地域福祉企画部]

- ア 障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業
  - ・相談実績：3件（面談受付：盛岡市、奥州市、金ケ崎町）
- イ 障がい者不利益取扱い相談窓口職員研修事業
  - ・期日、会場、参加者：3月9日、ホテルルイズ、77名
  - ・内容：講演/障害者差別解消法等障がい者の権利擁護について、行政説明/障害者差別解消法と県条例による障がい者不利益取扱いに関する相談窓口について、事例発表/相談窓口の一元化の実際について

(2) 住民の権利擁護と福祉サービスの利用支援

① 日常生活自立支援事業 [地域福祉企画部]

滝沢市社協を基幹化。県内11基幹社協に専門員20名、生活支援員184名を配置し、認知症高齢者等、判断能力の低下した方に対する援助を実施

【実利用者数】平成29年3月31日現在

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
324名	273名	323名	21名	941名

- ア 契約締結審査会の開催
  - 回数、会場、参加者：年12回、県民生活センター、委員6名及び基幹社協専門員
- イ 専門員情報交換会
  - 期日、会場：毎月契約締結審査会後に開催、県民生活センター
  - 参加対象者：専門員20名
  - テーマ：事業説明、取扱い要領の改正、不祥事の報告、次年度予算・実施体制等
- ウ 研修会
  - (ア) 新任専門員研修会
    - 期日、会場、参加者：4月26日、ふれあいランド岩手、9名
    - 内容：説明/日常生活自立支援事業、講義/初期相談から契約、解約までの実務、経理・統計、関係機関連絡会議、成年後見制度
  - (イ) 新任生活支援員研修会



期日、会場、参加者：5月12日、ふれあいランド岩手、23名

内容：説明/日常生活自立支援事業の概要と実務、地域福祉と権利擁護、講義/精神障がいのある方への支援と理解

(ウ) 専門員・生活支援員研修会

期日、会場、参加者：10月12日、ホテルルイズ、115名

内容：講義/日常生活自立支援事業の動向及び実務の参考例について、利用者との関わり方、支援のポイント、事例発表

エ 定期業務点検

期間、訪問先：6月～11月、基幹社協9か所及び市町村社協16か所（支所、支部等も含む）

点検内容：日常的金銭管理の状況等

※宮古地域及び久慈地域は台風10号の影響により書面審査

オ 事業説明等（県社協対応分）

運営監視小委員会、高齢者・障がい者なんでも110番、県高齢者権利擁護ネットワーク会議、県障がい者自立支援協議会、各基幹社協関係機関連絡会議

② 福祉サービス苦情解決事業〔適正化委員会〕

ア 苦情解決小委員会の開催

委員数・開催回数：委員6名 計7回開催

内容：苦情受付状況報告、苦情案件対応協議、巡回訪問・情報交換会実施報告

イ 苦情を考えるセミナーの開催

期日、会場、参加者：6月24日、岩手県立大学、99名

内容：サービスの質の向上に関する講演、高齢、障がい、児童分野の各事業所から苦情解決に向けた取組紹介

ウ 福祉サービス苦情解決情報交換会（基礎研修）の開催

開催回数・参加者数：計11回、285名（県内各地で開催）

内容：苦情解決のしくみ、各事業所の苦情事例、対応等に関する情報交換

エ 苦情解決専門研修の開催

期日、会場、参加者：11月11日、ホテルシティプラザ北上、72名

内容：事業所における苦情事例検討及び講師による講評

オ 苦情解決意見交換会の開催

期日、会場、参加者：計3回、27名（盛岡地域、宮古地域、花北地域で開催）

内容：事業所苦情解決担当者と運営適正化委員会事務局との意見交換

カ 巡回訪問の実施

実施事業所：40か所

内容：苦情解決事業取組状況の確認、改善に向けた助言、情報提供等

キ 事業所研修会等に対する職員派遣

派遣回数・参加者数：計4回、127名

ク 苦情・相談の受付・解決の概要

平成 27 年度に受け付けた「苦情相談」「一般相談（問合せや相談等、苦情に至らなかったもの）」の件数は 92 件で、その内訳は苦情相談 62 件、一般相談 30 件となっている。

前年度と比較して苦情相談は 32 件増加し、一般相談は 5 件減少した。

(ア) 受付別件数

受付方法						合計	
来所		書面		電話			
苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般
7	5	10	5	45	20	62	30

(イ) 苦情内容別・解決結果件数

苦情内容	受付	苦情解決の結果						
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
		助言 申入	推奨 話合いの	紹介 伝達	あっ せん	知事 へ通知	その他	継続 中
内 訳	①サービスの内容（職員の接遇）	35	29	3			3	
	②サービスの内容(サービスの質や量)	11	9	1			1	
	③利用料							
	④説明・情報提供	11	10	1				
	⑤被害・損害	1	1					
	⑥権利侵害	4	2	2				
	⑦その他							
合計	62	51	0	7	0	0	4	

### (3) 民生委員・児童委員の活動支援

① 民生委員児童委員活動支援事業 [地域福祉企画部]

岩手県民生委員児童委員協議会事務局を受託し民生委員活動費等の交付事務を担った。また、県の補助又は委託等を受け、民生委員・児童委員の資質向上及び活動支援のための事業を行った。

ア 研修会

(ア) 市町村民生児童委員協議会会長・副会長研修会

期日、会場、参加者：2月7日～8日、ホテル千秋閣、406名

内容：福祉制度の取組状況と今後の取組説明、災害弱者支援に関する講演、民生児童委員の活動の歴史と今後必要とされる活動に関する講演、県内の単位民児協の取組事例発表

(イ) 民生委員等を対象とした相談事業研修

期日、会場、参加者：10月27日～28日、ホテル千秋閣、108名

内容：複合的な課題を抱える相談者の支援方法の講演と事例検討

(ウ) 新任民生委員児童委員研修会

期日、会場、参加者：1月13日、1月19日、1月20日、1月23日、1月24日、1月27日、奥州市文化会館Zホールほか、1,179名

内容：民生委員児童委員の役割と活動に関する講義、県民児協役員による民生委員児童委員活動の経験談とやりがいに関する講義、活動記録の記入方法の講義、相談援助の心構えと基本技術に関する講義

(エ) 主任児童委員研修会

期日、会場、参加者：7月15日、8月1日、いわて県民情報センターアイーナ、401名

内容：発達障がいに関する講義、模擬事例による事例検討

(オ) 新任単位民生児童委員協議会会長研修会

期日、会場：2月28日、いわて県民情報センターアイーナ、90名

内容：県民児協役員による単位民児協会長の経験談とやりがいに関する講義、今日の地域福祉課題と民生委員児童委員活動・民児協の役割に関する講義、民児協活動の課題と単位民児協会長の役割に関する講義

イ 指定民生委員児童委員協議会の推進

(ア) 県社協指定

指定期間：2年（平成27年～28年）

指定民児協：盛岡市仁王地区民児協、奥州市姉体地区民児協

(イ) 県民児協指定

指定期間：2年（平成28年～29年）

指定民児協：盛岡市津志田地区民児協、宮古市愛宕区民児協

ウ 互助事業の実施

民生委員が死亡・傷害、被災した際その他、配偶者が死亡した際、弔慰金や見舞金を給付するとともに、平成28年12月の一斉改選を含む退任者への慰労金の給付を行った。

給付件数、金額：1,233件、6,433,000円

【内訳】 公務死亡	1件	150,000円
公務傷害	4件	320,000円
一般死亡	8件	240,000円
配偶者死亡	15件	225,000円
一般傷病	38件	366,000円
災害見舞	36件	705,000円
退任慰労	1,131件	4,427,000円

※内1,109件4,349,000円は、一斉改選による退任

エ 助成事業

(ア) 広域民生児童委員研修費の助成

県内10広域圏での研修事業の実施を支援するため、民生児童委員協議会または社会福祉協議会に助成金を交付した。

(イ) 市町村民生児童委員OB会への助成

継続的な活動を確認した9市町村の14OB会に助成金を交付した。

オ 東日本震災に関連する対応（県補助事業）

(ア) 沿岸地区民児協訪問事業

沿岸市町村の5市町村民児協を訪問し、これまでの活動の振り返りや活動上の課題等について委員相互に意見交換や助言し合うなどしながら、民生委員の精神的負担

の軽減を図った。

- ・宮古市 7月 8日、大槌町 7月 29日、野田村 8月 10日、釜石市 8月 31日  
山田町 9月 14日
- ・訪問活動事例集の発行 400部

(イ) 活動負担増分補助事業

震災で増加した活動に対する経済的負担の軽減のため、当該負担増加分の活動費補助を行った。

- ・補助決定者数、金額：131名、1,633,206円

カ 台風 10号災害に関連する対応

(ア) 全民児連「民生委員・児童委員災害救援活動支援金」の配分

全民児連から送金があった助成金 1,000,000円を次のとおり配分した。なお、配分残余金 10,000円は、甚大な被害を受けた宮古市、久慈市及び岩泉町の各民児協への訪問事業等で活用することとした。

配分額 990,000円	【内訳】	宮古市民生委員児童委員協議会	330,000円
		久慈市民生児童委員協議会	330,000円
		岩泉町民生児童委員協議会	330,000円

(イ) 県内民生委員児童委員による被災地民生委員・児童委員活動支援金の送金

市町村民児協を通じて、県内民生委員児童委員に被災市町村民児協支援金の募金協力を呼びかけ、集まった支援金 2,664,753円を甚大な被害があった宮古市、久慈市及び岩泉町の各民児協に、委員定数に応じて送金した。

なお、配分残余金 113円は支援金の送金手数料の一部に充当することとした。

配分額 2,664,640円	【内訳】	宮古市民生委員児童委員協議会	1,404,992円
		久慈市民生児童委員協議会	823,616円
		岩泉町民生児童委員協議会	436,032円

(ウ) 被災地民児協訪問事業の実施

台風 10号で甚大な被害を受けた宮古市、久慈市、岩泉町の各民児協を訪問し、活動の現状や課題を共有、意見交換するとともに、県民児協への支援要望等について意見交換を行った。

a 久慈市

期日・会場：9月 28日（久慈市総合福祉センター）

出席者：久慈市民児協－田表会長、山館副会長、久慈市民児協事務局 1名  
当協議会－藤本会長、米田副会長、田口副会長、南館副会長、事務局 1名

b 岩泉町

期日、会場：11月 24日（岩泉町役場）

出席者：岩泉町民児協－石垣会長、前川副会長、三上副会長、岩泉町民児協事務局 1名  
当協議会－米田副会長、事務局 1名

c 宮古市

期日、会場：11月25日（宮古市総合福祉センター）

出席者：宮古市民児協一刈屋会長、伊藤副会長、木村副会長、横坂副会長、  
和美幹事、宮古市民児協事務局1名  
当協議会 一藤本会長、田口副会長、事務局1名

キ 熊本地震及び台風10号災害に関連する対応

4月16日に発生した熊本地震に当たり、県内の市町村民児協を通じて、民生委員児童委員に支援金の募金協力を呼びかけ、集まった支援金を熊本県民児協に送金した。

送金額 3,340,847円

#### （4）東日本大震災からの復興支援と災害時対応体制の整備

##### ① 生活支援相談員支援事業 [地域福祉企画部]

###### ア 研修会の開催

###### （ア） 現地事例検討会

期日、会場、参加者：5月22日～23日、大槌町・釜石市内、79名  
6月26日～27日、宮古市総合福祉センター、51名  
8月28日～29日、大船渡市Y・Sセンター、102名

内容：参加者が提出した事例による事例検討

###### （イ） 生活支援相談員活動研究会

期日、会場、参加者：11月14日～15日、ホテル大観、92名

内容：事例発表、講義、グループワーク（事例検討）で日頃の活動を振り返り、講師の助言を得た。

###### （ウ） 生活支援相談員統括担当者のための人材育成研修

期日、会場、参加者：1月24日～25日、ホテル大観、18名

内容：スーパーバイズの基礎知識を得る講義、情報交換、事例検討により、人材育成の視点を学んだ。

###### イ 被災者支援沿岸内陸連絡会議の開催

期日、会場、参加者：5月31日、ふれあいランド岩手、55名

内容：転居に伴う個人情報の取扱についての検討

###### ウ 情報交換会の開催

<リーダークラスの生活支援相談員向け>

期日、会場、参加者：a 6月16日、山田町、41名

b 12月16日、釜石市市民交流センター、18名

内容：講義、生活支援相談員の活動体制を共有のうえ、各社協の業務の悩みや支援方策についての共有し助言しあった。

<沿岸生活支援員相談員向け>

期日、会場、参加者：a 12月12日、宮古市総合福祉センター、23名

b 12月20日、釜石地区合同庁舎、44名

内容：アクティビティ、参加者同士の情報交換等で活動継続の意欲醸成を図った。

<内陸生活支援相談員向け>

期日、会場、参加者：1月16日、岩手県森林組合会館、17名

内容：内陸避難者支援で感じる課題や活動の共有

エ 平成28年度東日本大震災被災者実態調査研究事業の実施

(ア) 委員会の開催

期日：6月3日、7月22日、12月26日、2月17日

(イ) アンケート調査の実施

アンケート配付数：2,270人 回収集1,520人（回収率67.0%）

調査方法：訪問留置、郵送回収（無記名）

調査期間：平成28年10月1日～11月15日

(ウ) 調査研究報告書の発行（700部。その他、本会ホームページに掲載）

オ 多職種・多機関協働支援

(ア) 自治会設立準備等に関する会議への出席

大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町 計25回

(イ) 内陸避難者支援ネットワーク会議への出席

4月27日、7月25日、11月28日、1月30日

(ウ) 被災3県社協情報共有会議

4月26日（東京都）、11月24日（盛岡市）、2月15日（福島市）

\*生活支援相談活動管理職・担当者会議（2月15日～16日／福島市）

カ 「生活支援相談員ニュースレター」の発行

発行月：4月～3月 計9回発行

配布対象：生活支援相談員、市町村社協、県、他県社協、全社協等関係機関

発行部数：255部（その他、本会ホームページに掲載）

キ 生活支援相談員活動事例集2016の発行

発行月：3月

内容：講師の助言コメント付の県内生活支援相談員活動事例

配布対象：県内生活支援相談員、県内市町村社協・行政、都道府県・指定都市社協

発行部数：530部

ク 被災地民生委員児童委員協議会支援

ケ 親族里親支援

コ 生活支援相談員活動実績 対象14,166世帯 支援延べ回数295,309件

② 被災地社協支援事業〔地域福祉企画部〕

ア 被災地社協個別支援訪問（14市町村社協）

5月10日 洋野町、久慈市、野田村

5月11日 田野畑村、普代村

5月17日 釜石市、大船渡市、陸前高田市

5月19日 宮古市、山田町、大槌町

イ 現地連絡会議への出席

<宮古市>

6月28日、12月8日、3月21日

<釜石市>

4月13日、5月18日、6月15日、6月29日、7月13日、7月28日、8月17日、11月16日、12月14日、1月18日、3月24日

<山田町>

6月29日、7月28日、11月30日、12月22日、1月31日、2月27日

### ③ 災害復興基金事業 [総務部]

東日本大震災後に、本会に寄せられた寄付金のうち、特に用途明示のない寄付金により創設した「災害復興基金」を、本会や市町村社協が行う被災者支援活動の財源として活用した。

ア 復興基金積立額の推移

(単位：千円)

	積立額	取崩額	年度末残高
～平成22年度	5,559	—	5,559
平成23年度	150,662	0	156,221
平成24年度	19,263	28,000	147,484
平成25年度	32,151	13,047	166,588
平成26年度	7,205	10,141	163,652
平成27年度	5,555	11,398	157,809
平成28年度	5,083	22,694	140,198
計	215,954	79,966	

イ 平成28年度事業執行状況

(単位：千円)

	市町村社協		県社協	計
	件数	金額		
助成金	4	7,724	—	7,724
事業費	—	—	19,970	19,970
計	4	7,724	19,970	27,694

※県社協事業費の財源に全社協からの助成5,000千円を含む

### ④ ボランティア市民活動センター事業 [地域福祉企画部]

ア 東日本大震災からの復興支援

沿岸市町村ボランティアセンターの活動支援

第3回ボランティア活動研究会(2月24日)にて、釜石市社会福祉協議会から「沿岸被災地の状況とこれから求められる活動について」と題して活動報告をいただき、今後の支援について情報共有を図った。

イ 災害対応体制の整備

災害に備えた平時からの連携構築

岩手県災害防災ボランティア支援ネットワークへの参画

全国社会福祉協議会、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議及び東北・北海道ブロック社協との連携

岩手県防災ボランティア支援ネットワーク連絡会議への参加（5月25日）、都道府県・指定都市社協災害ボランティアセンター担当者連絡会議への参加（1月20日）、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議東日本大震災振り返り会議への参加（1月10～11日）

ウ 熊本地震被災からの復興支援

○支援活動の状況

生活福祉資金緊急小口資金特例貸付への職員派遣

- ・派遣職員数 2名
- ・派遣期間 平成28年5月14日（土）～5月21日（土）
- ・活動先 熊本県熊本市
- ・活動内容 熊本市社会福祉協議会における中央区の緊急小口資金特例貸付受付

○熊本県社会福祉協議会災害ボランティアセンターへの職員派遣

- ・派遣職員数 5名
- ・派遣期間 平成28年5月23日（月）～6月28日（火）移動日を含む
- ・活動先 熊本県社会福祉協議会災害ボランティアセンター（熊本市）
- ・活動内容 熊本県社会福祉協議会災害ボランティアセンター本部支援、益城町など熊本県内各地の情報収集

エ 台風10号災害被災からの復興支援

○災害ボランティアセンターの開設

- ・宮古市社協災害ボランティアセンター 8月31日
- ・久慈市社協災害ボランティアセンター 9月1日
- ・岩泉町社協災害ボランティアセンター 9月1日
- ・岩手県社協災害ボランティアセンター 8月31日

○支援体制の構築

- ・9月2日 宮古市社協災害VC広域支援打合せ会議（会場：宮古市社協）
- ・9月2日 久慈市社協災害VC広域支援打合せ会議（会場：久慈市社協）
- ・9月5日 災害ボランティアセンター支援連携会議（会場：ふれあいランド岩手）  
盛岡市社協、NPO フォーラム 21、いわて連復興センター、SAVE - IWATE
- ・9月6日 岩泉町社協災害VC広域支援打合せ会議（会場：奥州市社協）  
（岩泉町社協支援会議）
- ・9月21日 台風10号災害支援第1回連絡会議（会場：岩泉町社協）
- ・10月5日 台風10号災害支援第2回連絡会議（会場：ふれあいランド岩手）

○県内市町村社協による広域派遣支援

・実施期間

毎日型支援 9月2日～10月10日（宮古市災害VC・久慈市災害VC）

9月2日～10月31日（岩泉町災害VC）

週末型支援 11月1日～11月27日（岩泉町災害VC）

○派遣人数

延べ1,233名（宮古市266名（本部126名、新里140名）、岩泉町881名、久慈市



86名) ※被害の甚大だった岩泉町、久慈市を除く全ての市町村社協から派遣

○東北ブロック社協による支援

・実施期間 9月16日～10月11日

・支援社協 (3県・18市町村社協)

青森県 (青森県社協・八戸市社協・三戸町社協・南部町社協・階上町社協・田子町社協・おいらせ町社協・十和田市社協・六ヶ所村社協・青森市社協・野辺地町社協・弘前市社協)

秋田県 (秋田県社協・横手市社協・大仙市社協・仙北市社協・北秋田市社協)

山形県 (山形県社協・山形市社協・大石田町社協・朝日町社協)

・派遣人数 延べ150名

○中央共同募金会災害派遣支援プロジェクト

・実施期間 9月3日～11月30日

・派遣人数 延べ122人

○NPO及び各種団体による支援

・いわてNPO災害支援ネットワークによる支援

特定非営利活動法人いわて連携復興センター、一般社団法人SAVE-IWATE、特定非営利活動法人遠野まごころネット、特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21

・岩手県社会福祉法人経営者協議会青年部による支援

(岩泉町社協災害VC小川サテライト及び小本サテライト／延べ240名)

・地元企業による支援 (岩手県北観光・9月中旬～11月27日・車両及び職員の長期派遣)

○ボランティアバスの運行

・運行期間 県社協 (9月17日～11月6日の週末中心)、盛岡市 (9月10日～10月30日の毎日)

・運行実績

行先 運行者	宮古市		岩泉町		久慈市		計	
	市町村社協	14回	290名	70回	757名	9回	122名	
県社協			20回	750名				
※盛岡市			48回	1,433名				
計	14回	290名	138回	2,940名	9回	122名	161回	3,352名

※市町村社協による運行 19市町村 93回 1,169人

○ボランティアバス運行助成

対象：10月15日～10月31日に行うボランティア活動、実績：8件 676,180円

○ボランティア活動者の状況

延べ23,667名 (平成28年12月末日現在)

宮古本部	1,538名	岩泉本部	11,271名	久慈	3,642名
------	--------	------	---------	----	--------

新里	1,040名	小本	1,781名	その他	220名
川井	399名	小川	3,776名		
小計	2,977名	小計	16,221名	総合計	23,667名

オ その他（応急仮設住宅等への生活家電整備支援）

岩手県と連携し、企業・団体及び個人に寄付を呼び掛け、久慈市、宮古市、岩泉町、野田村及び普代村の応急仮設住宅（247戸）等への生活家電の整備を支援した。

① 寄付金目標額 33,850,000円

② 受入額 37,586,838円

③ 整備経費 33,308,139円

受入額①から整備経費③を差引いた残額 4,278,699円は岩手県の義援金に支出

## ⑤ 災害広域支援ネットワーク事業 [福祉経営支援部]

ア 熊本地震派遣

派遣期間：4月28日～5月18日（21日間）

活動場所：益城町交流情報センター（避難者約200名）

派遣人数：チーム5班 延べ24名

※ 5/13から京都府DWA Tに活動を引き継いだことから、本県チームは第5班で派遣終了

イ 台風10号による岩泉町派遣

派遣期間：8月30日、9月1日～30日、10月3・7日（33日間）

活動場所：矢巾町消防学校、岩泉町指定避難所（町民会館、龍泉洞温泉ホテル等）

派遣人数：チーム7班 54名

※ 消防学校ではヘリ搬送の老健利用者をフォローし、岩泉町内避難所では滞在型の支援を展開

ウ 岩手県災害派遣福祉チーム派遣体制の強化

チームごとの資機材配置に向けた準備

エ チーム員の養成（県委託業務）

（ア）新規募集（1月実施：34名が予定者として登録）

（イ）登録研修（1/28～29：前年度までの未修了者含む36名修了）

※ 上記ア及びイの対応のため、ウ及びエ等の事業は縮小して対応した。

## 2 住民の福祉活動の振興

### （1）ボランティア活動の振興と福祉教育の推進

#### ① ボランティア・市民活動センター事業 [地域福祉企画部]

ア 研修会の開催

（ア）第1回ボランティア活動研究会

期日、会場、参加者：4月28日、ふれあいランド岩手、37名

内容：平成28年度熊本地震の被害状況と支援活動の状況について（説明）

今後の支援について（情報交換）

- (イ) 第2回ボランティア活動研究会  
期日、会場、参加者：2月23日、都南文化会館、23名  
内容：「地域福祉の現状とボランティア活動の振興」（講義、講師：全国ボランティア・市民活動振興センター）、情報交換・グループ討議
- (ウ) 第3回ボランティア活動研究会  
期日、会場、参加者：2月24日、ふれあいランド岩手、22名  
内容：「災害発災時及び復興の取組みと平時の活動について」（講義、講師：全国ボランティア・市民活動振興センター）、活動報告、情報交換・グループ討議
- (エ) 暮らし支えるボランティアの集い  
期日、会場、参加者：2月20日、ふれあいランド岩手、88名  
内容：各地域の活動発表、活動交流情報交換

イ モデル事業の実施

- (ア) 地域で育む福祉教育推進モデル事業  
今年度、新たにモデル事業実施地域を選定する予定だったが、台風10号災害への対応等のため、選定に至らなかったため、今年度は事業を実施しなかった。  
※平成29年度からのモデル事業実施地域については、金ヶ崎町及び大船渡市とすることで選定済み（モデル指定：平成29年度～31年度）
- (イ) 地域型プラットフォームサービス協働システムモデル事業  
指定期間、指定先：平成27～29年度、1市町村社協（北上市）  
内容：地域の福祉サービス提供団体や支援活動団体が、相互の連携・協働による方式（プラットフォーム型）を取り入れ、住民ニーズに応じたサービス調整と提供、新たなサービスを開発など、必要とされる協働の仕組みを構築するため、1市町村社協に10万円を助成

ウ 多様なボランティア機会の提供とボランティア活動への参加促進

- (ア) 2017 ボランティア体験 in いわて  
期間、会場、参加者：7月1日～10月31日、県内各地、参加者総数1,793名  
内容：自分たちの住む地域への理解・関心を深めながら、継続的なボランティア活動のきっかけづくり、新たにボランティア活動を始める方々への参加機会提供のため、90件のボランティア体験プログラムを募り実施
- (イ) ボランティア出前講座  
開催回数、参加者：計20回、参加者総数1,200名  
内容：社会貢献活動、キャップハンディ体験、ボランティア活動に関する出前講座を実施  
講師派遣要領の制定：ボランティア・市民活動の各分野に精通した人材を登録・派遣することを目的に、講師派遣要領を制定した。
- (ウ) いわて車いすフレンズ  
活動参加校、寄贈台数：計11校、57台  
内容：県内工業高校・岩手大学工学部学生が、破損等で使われなくなった車いすを修理・整備しアジア諸国に寄贈

- (エ) いわて車いすフレンズ修理技術講習会  
期日、会場、参加者：6月23日、ふれあいランド岩手、25名  
内容：寄贈先の状況に関する講話、車いす修理、修理済み車いすの梱包作業
- エ ボランティア団体の支援
  - (ア) 岩手県ボランティア団体連絡協議会総会  
期日、会場、参加者：6月20日、ふれあいランド岩手、32名
  - (イ) 市町村ボランティア連絡協議会総会への出席  
出席回数：計21回  
内容：ボランティアセンター事業実施に係る連携強化、情報収集
- オ 21世紀スノーバスターズプロジェクト  
期間、設置市町村数：12月～3月、11市町村  
参加者：1,339名  
内容：ひとり暮らし高齢者、障がい者等の冬期間の雪かきを支援するスノーバスターズ
- カ 企業・団体の社会貢献活動のコーディネート
  - (ア) 企業・団体の社会貢献活動のコーディネート  
3件（訪問コンサート、段ボールクラフト教室、車いす清掃開催に係るコーディネート）
  - (イ) 寄付・寄贈にかかるコーディネート  
4件（助成金、車いす、福祉車両、電子レンジほか）

## (2) 情報発信機能の強化

機関紙「パートナー」発行及びHP等による情報発信事業[総務部]

本会の機関紙「パートナー」を年6回、部数（毎号5,000部）を発行し、社会福祉に関する情報や本会をはじめ会員施設や市町村社協の活動を紹介するなど、見やすく分かりやすい機関紙発行に努めた。

ホームページについては、社会福祉関係者はもとより、県民がりようしやすい内容に充実・改善し、常に新しい情報の提供に努めた。（ホームページ年間アクセス回数：31.9万回）

## 3 福祉人材の養成と確保

### (1) 福祉人材の養成とスキルアップ支援

#### ① 社会福祉従事者等研修・資格取得講座 [福祉人材研修部]

福祉サービスを担う人材の確保や育成、社会福祉・介護従事者の資質向上や定着促進のためのキャリアアップ等を目的に、経営者及び社会福祉従事者を対象とした研修を実施した。

なお、次年度から全国社会福祉協議会中央福祉学院が実施する「介護職員実務者研修通信課程」のスクーリング実施に向け、委託契約等の準備を進めた。

#### ア 福祉施設のためのリスクマネジメント講座

県内社会福祉施設・事業所の職員に、福祉サービスの提供に必要とされるリスクマネジメントの専門的な知識と技能を習得させ、資質向上を図ることを目的に開催

期日、会場、受講者：11月21日、ホテルニューカリーナ、185名

内容：コンプライアンスの基本、リスクマネジメント（リスクとは何か・危険予知の取組）に関する講義と講師から提示されるテーマに基づく意見交換等

イ 社会福祉事業従事者新任職員研修会

新任職員として職場への適応促進と福祉職員としての自覚を高めるとともに、現場実践に必要な基礎知識・技術等の習得を図ることを目的に開催

期日、会場、受講者：7月25日・26日、岩手産業文化センターアピオ、196名

内容：職場生活の基本、キャリアデザインとセルフマネジメント、メンバーシップと課題解決、福祉倫理と運営管理、多職種連携とチームアプローチ

ウ 社会福祉従事者リーダー職員研修会

組織内で期待される基本的役割の理解を深めるとともに、業務課題の解決や職務遂行に必要な知識・技術などの習得、リーダーとしての能力の向上を図ることを目的に開催

期日、会場、受講者：9月28日・29日、岩手県立大学、138名

内容：リーダー職員の役割とコーチング、福祉の専門性とキャリア形成、多職種連携とチームアプローチ、リーダーシップとメンバーシップ、業務課題の解決と実践研究

エ 介護支援専門員実務研修受講試験準備講習会

本試験に向けて、介護保険制度や必要な知識について理解を深めることを目的に開催

期日、会場、受講者：7月28日・29日、ふれあいランド岩手、50名

内容：介護支援・保健医療サービスの各科目のポイントに関する講習

オ 介護福祉士国家試験受験対策講習会

本試験に向けて必要な知識を習得し、合格のための実力を養うことを目的に実施

期日、会場、受講者：10月11日～13日、ふれあいランド岩手、19名

内容：科目講習（人間と社会／介護／こころとからだのしくみ）、受験テクニック解説

② 介護職員等医療的ケア研修事業 [福祉経営支援部]

ア 平成28年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第一号、第二号研修）指導者養成講習

期日、会場、参加者：9月12日～14日、アイーナ、70名

内容：介護職員等がたんの吸引等を実施するために受講することが必要な研修の講師及びその指導者を養成

イ 平成28年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第一号・第二号研修）

（ア）基本研修（講義・演習）及び実地研修受講者

<グループA>

期日：基本研修（講義）7月4日～8日、8月31日、9月1日、2日

会場、参加者：アイーナ、175名

期日：第1回基本研修（演習）10月11日～14日

第2回基本研修（演習）11月29日、30日、12月1日、2日

会場、参加者：アイーナ、171名

期日：第1回実地研修10月26日～12月26日

期日：第2回実地研修12月10日～2月10日

会場、参加者:アイーナ、167名

<グループB>

期日：基本研修（講義）7月26日～29日、8月9日～、12日

会場、参加者:一関新保健センター、106名

基本研修（演習）10月11日～14日

会場、参加者:アイーナ、106名

期日：実地研修 12月10日～2月10日

会場、参加者: 実地研修協力者（利用者）が所在する施設・事業所又は居宅等 104名

内容：（第1回、第2回共通）介護施設及び居宅等において、介護職員等が利用者に対し、安全かつ適切にたん吸引等の医療的ケアを実施するために必要な知識及び技術の習得

(イ) 演習・実地研修のみ受講者

期日：基本研修（演習）10月11日～14日

会場、参加者:アイーナ、2名

期日：実地研修 10月26日～12月26日

会場、参加者: 実地研修協力者（利用者）が所在する施設・事業所又は居宅、2名

(ウ) 実地研修のみ受講者（平成23年度から28年度までの岩手県介護職員等医療的ケア研修(不特定の者対象又は第一号・第二号研修)基本研修（講義・演習）修了者を対象）

期日：実地研修 9月1日～2月10日

会場、参加者: 実地研修協力者（利用者）が所在する施設・事業所又は居宅、14名

(エ) 実務者研修修了者・福祉系高校卒業者・専門学校卒業者等を対象とした実地研修受講者

期日：8月10日～10月10日

会場、参加者: 実地研修協力者（利用者）が所在する施設・事業所又は居宅、91名

ウ 平成28年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第三号研修・特定の者対象）

<第1回>

期日：基本研修 11月1日、2日

会場、参加者:ふれあいランド岩手、8名

実地研修 【第1回】9月9日～11月9日まで

【第2回】11月15日～1月15日まで

会場、参加者: 実地研修協力者（利用者）が所在する施設・事業所又は居宅、30名

③ 介護福祉士等修学資金貸付事業 [福祉経営支援部]

介護福祉士及び社会福祉士等の人材の養成と確保を目的とした貸付け、介護職として一定の知識及び経験を有する者が再就職するための準備に必要な費用の貸付けを実施。

[制度概要]

ア 介護福祉士（社会福祉士）修学資金

月額：50,000円以内 入学・就職準備金：各200,000円以内

国家試験受験対策費用：一年度当たり 40,000 円以内（※介護福祉士のみ）

利子：無利子

※返還債務の免除規定あり（養成施設等を卒業した日から 1 年以内に岩手県内で介護福祉士等としてその業務に就き、引き続き 5 年間その業務に従事したとき）

- 平成 28 年度貸付決定状況 新規 52 名 72,954 千円  
内訳：介護福祉士県内養成施設 42 名 66,294 千円（うち生活費加算 1 名）  
介護福祉士県外養成施設 1 名 2,800 千円  
社会福祉士県内養成施設 9 名 3,860 千円
- 貸付状況（平成 29 年 3 月現在）

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
256 人	93 人	43 人	18 人	8 人	418 人

イ 介護福祉士実務者研修受講資金

貸付上限額：200,000 円

※返還債務の免除規定あり（実務者研修施設の卒業（又は介護等の業務に従事する期間が 3 年に達した日）から 1 年以内に岩手県内で介護福祉士としてその業務に就き、引き続き 2 年間その業務に従事したとき）

- 平成 28 年度貸付決定状況 新規 16 名 2,277 千円
- 貸付状況（平成 29 年 3 月現在）

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
0 人	16 人	0 人	0 人	0 人	16 人

ウ 再就職準備金（12 月から運用開始）

貸付上限額：400,000 円（当初 200,000 円→平成 29 年 2 月通知により 400,000 円に改正）

※返還債務の免除規定あり（介護職員等として就労した日から、岩手県内で引き続き 2 年間その業務に従事したとき）

- 平成 28 年度貸付決定状況 新規 3 名 600 千円
- 貸付状況（平成 29 年 3 月現在）

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
0 人	3 人	0 人	0 人	0 人	3 人

④ ひとり親家庭高等職業訓練促進支援資金貸付事業 [福祉経営支援部]

ひとり親家庭の安定した就労による自立を促進するため、高等職業訓練促進給付金受給者を対象に、養成機関への入学準備金及び資格取得した場合の就職準備金の貸付けを実施。（12 月から運用開始）

[制度概要]

ア 入学準備金：500,000 円以内 就職準備金：200,000 円以内

※返還債務の免除規定あり（養成機関を修了し、かつ、資格取得した日から 1 年以内に岩手県内で就職し、取得した資格が必要な業務に従事し、引き続き 5 年間その業務に従事したとき）

イ 平成 28 年度貸付決定状況 新規 4 名 1,400 千円

内訳：入学準備金 2名 1,000 千円

就職準備金 2名 400 千円

ウ 貸付状況（平成 29 年 3 月現在）

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
0 人	4 人	0 人	0 人	0 人	4 人

⑤ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業 [福祉経営支援部]

児童養護施設等入所中又は里親等へ委託中の者及び児童養護施設等を退所した者又は里親等への委託が解除された者に対する貸付けを実施。主な内容は、大学等に在学する者に対する生活支援費の貸付け、就職者に対する生活支援費及び家賃支援費の貸付け、就職に向けて資格の取得を希望する者に対する資格取得支援費の貸付けの実施（12 月から運用開始）

[制度概要]

ア 生活支援費：月額 50,000 円以内

（進学者については在学期間、就職者については退所又は委託解除後から 2 年以内）

家賃支援費：居住地域における生活保護制度上の住宅扶助額を上限とする

資格取得支援費：250,000 円以内

※返還債務の免除規定あり

進学者：大学等を卒業した日から 1 年以内に就職し、かつ 5 年間引き続き就業を継続したとき

就職者：就職した日から 5 年間引き続き就業を継続したとき

資格取得希望者：就職した日から 2 年間引き続き就業を継続したとき

イ 平成 28 年度貸付決定状況 新規 1 名 600 千円（家賃支援費）

ウ 貸付状況（平成 29 年 3 月現在）

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
0 人	1 人	0 人	0 人	0 人	1 人

⑥ 保育士修学資金貸付等事業 [福祉経営支援部]

保育人材の確保を図ることを目的に、潜在保育士に対する就職準備金の貸付けを実施

[制度概要]

ア 就職準備金

貸付上限額：400,000 円

※返還債務の免除規定あり（保育士等として就労した日から、岩手県内の保育所等において引き続き 2 年間その業務に従事したとき）

・ 平成 28 年度貸付決定状況 新規 3 名 600 千円

・ 貸付状況（平成 29 年 3 月現在）

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
0 人	3 人	0 人	0 人	0 人	3 人



## (2) 福祉人材の確保とマッチングの強化

### ① 福祉人材センター運営事業 [福祉人材研修部]

#### ア 福祉人材無料職業紹介

無料職業紹介所として、求人求職の斡旋を中心に事業を行った。求職者への福祉の資格取得や就職に関する相談、福祉全般に関する情報提供を行ったほか、毎月第2土曜日を相談日として開所し利用促進を図った。求人については、センターの窓口や「福祉のお仕事」（パソコン及びモバイルサイト）での情報公開のほか、週1回求人情報誌を作成し求職者に情報提供した。また、特に急募の求人については岩手県福祉人材センターのホームページに掲載し周知を図った。

#### 【求人・求職の実績】

年度	新規求人数(人)	新規求職数(人)	採用数 (件)	求人求職 相談数 (件)
平成28年度	4,947	1,010	234	8,306
平成27年度	5,035	1,102	220	7,839
平成26年度	5,331	1,205	189	7,867
平成25年度	4,471	1,339	178	7,042

#### イ 各種会議・研修会への参加

- ・福祉人材センター・バンク所長会議  
期日、会場：4月19日・20日 全国社会福祉協議会
- ・福祉人材センター全国連絡会議  
期日、会場：9月13日・14日 全国社会福祉協議会
- ・福祉人材確保推進協議会（岩手労働局主催）  
期日、会場：5月23日 盛岡第2合同庁舎
- ・北海道・東北ブロック福祉人材センター・福祉人材バンク連絡会議  
期日、会場：12月8日・9日 宮城県
- ・岩手県介護労働懇談会（介護労働安定センター岩手支部主催）  
期日、会場：5月23日、2月2日 アイーナ

#### ウ 主催会議

##### (ア) 福祉人材センター運営委員会

###### <第1回>

期日、会場、参加者：7月4日、ふれあいランド岩手、12名

内容：平成27年度事業実施状況、平成28年度事業計画、福祉人材確保について

###### <第2回>

期日、会場、参加者：3月2日、ふれあいランド岩手、12名

内容：平成28年度事業実施状況、平成29年度事業計画、福祉人材確保について

##### (イ) 福祉人材養成関係機関等連絡会議

期日、会場、参加者：8月9日、ふれあいランド岩手、7校9名（福祉人材養成校）

内容：全県における求人・求職状況について・各養成校の就職・入学等状況について、福祉・人材確保について

エ 雇用関係給付金の取扱相談窓口の開設

被災者雇用開発助成金、特定就職困難者雇用開発助成金の取扱い相談窓口として、制度の説明及び周知を行うとともに制度対象者の手続を受け付けた。(25件)

オ 啓発・広報事業

(ア) 福祉人材センターのPR

福祉人材センター事業の利用者増を目的にリーフレットを求職者や県内の福祉施設・事業所、公共機関やハローワークなどの関係機関・団体に配布した。

- ・人材センター利用案内リーフレット
- ・人材センターPRポスター
- ・人材センターPRリーフレット(求職者向け)

(イ) 地域情報紙・求人情報紙への広報掲載

「Be-JOB いわて」「マ・シェリ」「IBCラジオ」「エフエム岩手」にて福祉人材センターを継続してPR、福祉の就職総合フェアの開催案内を掲載した。

(ウ) 岩手県福祉人材センターホームページ

事業案内、求人情報、利用案内、各種資料提供等を充実し情報発信した。

カ 「福祉の就職総合フェア2016」の開催

福祉の職場への就職希望者や学校の進路指導担当者等を対象に、福祉の職場の現状や就職に関する情報提供、福祉施設・事業所等との個別面談の場として年2回開催した。また、実施成果等の把握のため、参加事業所9か所を訪問した。

<第1回> 7月9日、ホテルニューカリーナ、事業所36、参加者98名

<第2回> 10月14日、ホテルニューカリーナ、事業所35、参加者62名

内容：就職に役立つコミュニケーションスキル講座、施設・事業所PRタイム、個別面談会、各種相談コーナー

キ 就職面接会、就職ガイダンス等への参加

- ・(財)いわてふるさと定住財団 (計5回)
- ・岩手労働局・ハローワーク・ジョブカフェ (計3回)
- ・自治体等主催の就職面接会やガイダンス (計8回/うち雫石町社協2回)

ク 中学生・高校生を対象とした福祉のしごと紹介事業(出前講座)の開催

将来福祉・介護サービスの担い手となる若年層に、福祉人材の重要性と福祉の仕事の魅力を伝え、将来の進路選択につなげることを目的に、地域の福祉施設・事業所の職員を学校に派遣し講座を行った。(「出前講座」資料、小冊子作成)

<実績>合計14校15回588名

(小学校8校339名、中学校4校159名、高等学校2校90名)

② 福祉・介護人材マッチング支援事業[福祉人材研修部]

本県における福祉・介護人材の確保を目的として、県内に7名のキャリア支援員を配置し、きめ細かな求職者への相談支援、福祉施設・介護事業所訪問による求人開拓、働きやすい職場づくりに向けた指導・助言など、下記の事業を行った。

ア キャリア支援員の配置及び活動拠点

県内4圏域（県央・県南・県北・沿岸）に配置（盛岡市2名、奥州市1名、久慈市1名、釜石市1名、宮古市1名、大船渡市1名）

イ 事業実施内容 ※（）内は前年度実績

（ア） 各ハローワーク、自治体等と連携した就労相談窓口の開設（定期的な相談日の開設出張相談、就職面接会等へ参加）及び臨時的相談対応

実施状況：求職者相談1,977（1,933）件、採用者数295（232）人

（イ） 福祉施設・事業所の計画的巡回訪問と求人開拓

実施状況：事業所訪問523（468）件、新規事業所開拓数35（31）件  
新規求人開拓数194（209）件

（ウ） 各ハローワーク、自治体、市町村社協等関係機関の訪問

実施状況：976（995）件

（エ） 介護職の潜在有資格者に対し福祉業界への再就職を支援する講座を開催

開催地（8か所）：奥州、北上、釜石、久慈、二戸、大船渡、宮古、盛岡  
参加状況：参加者53（37）人

（オ） 福祉業界への就職転職を支援する就労支援ミニ講座を開催

開催地（6か所）：宮古、盛岡、二戸、釜石、一関、大船渡  
参加状況：参加者33（25）人

（カ） 小規模事業所を対象とした合同面接会を開催

開催地（6か所）：盛岡、久慈、奥州、宮古、釜石、大船渡  
参加状況：参加事業所67（86）、参加者184（114）人

（キ） 小規模事業所合同研修事業の企画実施

実施状況：27（12）回 参加252（92）事業所、参加者424（173）人

ウ 各種会議・研修会への参加

（ア） 福祉人材センター業務・法令研修

期日、会場：5月30日・31日、全国社会福祉協議会

（イ） 平成28年度マッチング機能強化研修

期日、会場：7月20日・21日、全国社会福祉協議会

（ウ） 東北・北海道ブロック求人・求職マッチング活動等に関する実践研究会議

期日、会場：12月8日・9日 宮城県

エ 介護の職場体験事業の実施

福祉分野の就労経験がない求職者等の福祉の仕事に対する理解促進を図り、就職を支援することを目的として、県内福祉施設・事業所における日常業務の体験事業を実施した。

・実績：体験総数55（48）名（平均42.6歳／体験日数2.8日）

介護の職場への就職者35（22）名

また、キャリア支援員スキルアップ研修時に、体験受入施設を招聘して研修、情報交換を実施した。

・期日、会場、参加者：6月29日、ふれあいランド岩手、2施設

オ 情報誌の発行

県内の高齢者福祉施設・事業所向け情報誌「エール」を発行（年2回・各1,300部）した。

③ 保育士・保育所支援センター保育士人材確保事業 [福祉人材研修部]

県内の保育人材を確保するため、岩手県の委託事業として「岩手県保育士・保育所支援センター」を設置、専任コーディネーター1名を配置し、求人等ニーズ把握や保育士の就職相談等の支援を行った。特に、有資格者で現在働いていない潜在保育士の再就職に向けた支援に重点を置いて事業を実施した。

ア 保育士・保育所支援センター設置事業実績

	潜在保育士	その他保育士	保育所等	その他施設	計
マッチング	90	25			115
相談件数	440	104	643		1,187

※保育士・保育所支援センターを通して保育士が就職した場合、マッチング成功としてカウント

イ 平成28年度児童福祉研修事業（保育士人材確保）

(ア) 新任保育士（就業継続支援）研修会

期日、会場、参加者：7月27日、アイーナ、106名

(イ) 潜在保育士（再就職支援）研修会

期日、会場、参加者：10月28日、ふれあいランド岩手、20名

ウ 保育の職場見学会の実施

- ・第1回（7月21日、社会福祉法人滝沢市保育協会 鶉飼保育園 4名）
- ・第2回（9月7日、株式会社ニチイ学館 ニチイキッズ仙北町駅保育園 9名）
- ・第3回（10月4日、社会福祉法人一誠会 下太田保育園 7名）
- ・第4回（12月15日、社会福祉法人吉祥会 北高田保育園 3名）

エ 保育士カフェの開催

潜在保育士の再就職を支援するため、保育士カフェを開催した。

- ・第1回（8月22日、ふれあいランド岩手、13名）
- ・第2回（11月25日、一関保健センター、9名）
- ・第3回（1月30日、ふれあいランド岩手、8名）

オ 会議への参加

保育士・保育所支援センター実施福祉人材センター連絡会議

期日、会場：12月5日、全国社会福祉協議会

### (3) 退職共済制度の適正運営と福利厚生事業の強化

① 民間社会福祉事業職員共済事業 [総務部]

県内の民間社会福祉事業施設及び団体に勤務する職員の福利厚生を目的として本会が実施している民間社会福祉事業職員共済事業の財政運営の健全化を図るため、平成27年3月に策定した「積立水準回復計画」に基づき、事業の適正な運営に努めた。

平成28年度の総合利回りは3.0%を目標としていたが、株式は堅調に推移したものの、国内債券はゼロ金利の影響を受け、外国債券は海外金利の上昇の影響を受けるなどしたため価格が下落し、総合利回りは年率で0.62%と低調に終わった。

また、財政の状況を示す平成28年度末現在の責任準備金率は前年度から0.13ポイント減少して0.7000となり、積立水準回復計画による「金融機関による収支予測計算の結果」の平成

28年度の0.73を0.03ポイント下回った。

ア 加入及び会費受入れ・給付状況

平成28年度末 加入状況		平成28年度における会費受入・給付状況 (百万円)			
加入施設団体	加入人数	会費収入	給付金	(内訳)	
				退会給付金	慶弔見舞金
760	12,517人	1,691	1,397	1,388	9

イ 資産の状況

(ア) 時価 (太枠内の資産は三菱UFJ信託銀行に運用を委託) (単位：百万円)

	国内債券	国内株式	外国債券	その他	仕組債等	普通預金	貸付金等	計
時価	5,227	978	1,939	2,598	215	1,902	104	12,964
割合	47.7%	8.9%	17.7%	23.7%	2.0%	—	—	100.0%

(イ) 運用実績 (年率)

年度	H24	H25	H26	H27	H28
総合利回り	7.23%	3.95%	6.12%	△2.52%	0.62%

(ウ) 評価損益 (単位：百万円)

信託区分	取得価額	時価(帳簿価額)	評価損益	うち当期発生評価損益
特定包括信託	215	215	0	0
単独運用指定包括信託	10,529	10,742	213	281
合計	10,744	10,957	213	281

ウ 財政状況 (単位：百万円)

年度	H24	H25	H26	H27	H28
責任準備金 A	15,731	16,246	17,045	17,776	18,258
積立金 B	10,492	11,559	12,456	12,643	12,963
差額 B-A	△5,239	△4,687	△4,589	△5,133	△5,295
責任準備金率 B÷A	0.6670	0.7115	0.7308	0.7113	0.7100

※責任準備金率：将来の給付のため現時点で保有しなければならない積立金に対する積立率

エ 積立水準回復計画

(ア) 会費の引上げ

- ・会費及び事業主負担額を現行の1000分の50から1000分の57.5に引き上げ

(イ) 給付事業の見直し

- ・慶弔見舞金のうち、死亡弔慰金の本人給付額を減額し、配偶者死亡の場合の給付を廃止
- ・健康管理助成金及び生活融資金事業を廃止

(ウ) 資産運用の経費の節減

- ・資産運用リスクをできる限り回避し、目標運用利回り3パーセントの達成と、運営事務費(人件費、事務諸費)の節減に引き続き努める

(エ) 計画の期間

- ・平成27年度から30年間

(オ) 定期検証の実施

- ・毎年度末の責任準備金率と「金融機関による収支予測計算の結果」の積立比率を比較のうえ定期検証を実施

(カ) 計画の変更

- ・計画実施後3年毎に定期検証時点での責任準備金率が「金融機関による収支予測計算の結果」の当該年度の【積立比率】を0.1ポイント以上下回った場合は、その翌年度の7月以降の会費は1000分の57.5から1000分の60に引上げ

(キ) 実施時期

- ・(ア)は平成27年7月1日から実施、(イ)の慶弔見舞金は平成27年4月1日から実施、(イ)の健康管理助成金及び生活融資金事業は平成28年3月31日をもって廃止

② 福利厚生センター受託事業 [総務部]

ア 未加入及び新規加入事業所へ事業PRの実施

新規加入事業所の担当者には、事業説明及びパンフレット等の配布を行った。また、加入検討中事業所へは、県社協会員申込時にリーフレット等を送付し事業内容のPRを行った。

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
会員数(名)	3,557	3,507	3,710	3,786	4,073	4,166

イ 福利厚生企画・情報会議の実施

開催日：6月2日、10月27日（ふれあいランド岩手）

内容：加入法人・事業所の施設長、職員等による企画・情報会員9名、福利厚生推進員4名にて魅力ある会員交流事業の企画協議

ウ 福利厚生センター会員交流事業の実施

事業内容	参加者数
○三陸海岸の春に行く！三陸鉄道レトロ列車で豪華ランチグルメ交流会(4月23日)	28名
○沿岸地域会員10名限定！船釣り交流会(5月28日)	8名
○仙台うみの杜水族館と牛タンランチ・三井アウトレットバスツアー(7月10日)	29名
○北海道新幹線で行く函館のんびり・きままに自由旅(9月24日～25日)	31名
○民話の里遠野物語～元祖ジンギスカンとSL銀河鉄道(10月2日)	40名
○三陸海岸の秋に行く！「大船渡屋形船【潮騒】」豪華ランチクルーズ(11月19日)	24名
○中国料理テーブルマナー&本格中国料理を堪能しよう！(12月10日)	31名
○東京ディズニーリゾートへの旅(1月14日～15日)	30名
○グルメ交流会 in 花巻 本格和食を楽しむタベ(1月21日)	30名
○和牛焼肉宴会 in たむら屋(1月21日)	29名
○八幡平ハイツで日帰り温泉を堪能しよう！(2月11日)	10名
○ユニバーサル・スタジオ・ジャパンへの旅(2月18日～19日)	30名
○最高級黒毛和牛を堪能！前沢牛オガタでいただく焼肉&ステーキ①(2月25日)	50名
○グルメ交流会 in 北上 本格鉄板焼きでいただくステーキのタベ(3月4日)	30名
○最高級黒毛和牛を堪能！前沢牛オガタでいただく焼肉&ステーキ②(3月5日)	50名

○評判のお宿で温泉&グルメin佳松園(3月11日～12日)	38名
○がんばっぴゃー岩泉 本当にありがとう・これからもよろしく 龍泉洞再開記念！ 岩泉田舎めしを食す in 龍泉洞温泉ホテル(3月19日)	36名
○映画鑑賞割引事業（県内映画館6か所の通常大人料金から800円を割引き） （実施期間：12月1日～3月31日）	755名
○スキー&スノーボードリフト券購入助成事業（雫石スキー場・安比高原スキー場・岩手高原スノーパーク・夏油高原スキー場の各前売リフト券を、通常料金から1,000円～3,000円の購入助成）	641名

## 4 社会福祉事業経営の支援

### (1) 社会福祉事業経営の支援

#### ① 社会福祉経営サポート事業 [福祉経営支援部]

##### ア 法改正研修会の開催

期日、会場、参加者：8月23日、ホテルニューカーリーナ、96名  
内容：社会福祉法改正に関する講義

##### イ 推進セミナーの開催

期日、会場、参加者：8月24日、ホテルニューカーリーナ、113名  
内容：社会福祉法人による地域公益活動に関する講演、実践報告

##### ウ 経営相談の実施

一般相談：196件

##### エ 制度改革等に関する研修への講師派遣

派遣件数：5件

##### オ 社会福祉法人に関するアンケート調査の実施

調査基準日：2月1日

回収率：54.5%

調査項目の追加：地域における公益的な取組の実施状況、法人経営の状況等について

#### ② いわて障がい者就労支援復興センター [福祉経営支援部]

##### ア 被災沿岸市町村にある事業所の運営体制の安定化、商品力向上、販路拡大や新規立ち上げに向けた個別支援

###### (ア) アドバイザー派遣

アドバイザー名を13事業所に24回派遣

###### (イ) 課題に対応した研修会の開催

11事業所で15回開催（開催に当たっては、同一圏域で同様の課題を抱える事業所にも参加を呼びかけ実施）

##### イ 被災地障がい福祉サービス事業所生産活動支援事業受託事業所と連携した新製品の開発や販路拡大の取組による利用者の賃金・工賃の向上支援

###### (ア) 希望郷いわて国体・大会土産商品の販売（県社協障がい協との連携による土産商品（焼き菓子、珈琲）の販売）

○ みやこワークステーション（岩手珈琲物語、154箱 92,400円）

○ あすなるホーム（岩手発めんけえサブレ サクサクやきっち、中箱 21箱 16,800円）

- 円)
- (イ) 県社協共同受注センターによる販売への橋渡し
- 久慈圏域：あすリード本舗、みずき園、松柏園
  - 宮古圏域：みやこワークステーション、カリー亭、宮古アビリティセンター、ワークプラザみやこ、ワークハウスアトリエ Sun
  - 釜石圏域：かまいしワークステーション、釜石市福祉作業所、わらび学園、こっちやきたんせきらり工房
  - 気仙圏域：朋友館、青松館、星雲工房、@かたつむり、慈愛福祉学園、あすなるホーム
- (ウ) 商品の販路拡大
- かまいしワークステーション焼き菓子商品（釜石の橋野鉄鉱山クッキー）を花巻空港売店で販売（大箱 28 箱、28,000 円、小袋 185 袋、16,650 円）
  - 朋友館ウエス商品（白物、タオル、ミックス）を岩手県自動車整備商工組合に販売（白物 107 枚 93,090 円、タオル 17 枚 18,173 円、ミックス 32,412 円）
  - 青松館軍手を岩手県自動車整備商工組合に販売（200 本、92,810 円）
- (エ) 被災沿岸市町村にある事業所と県内の被災沿岸市町村以外の市町村にある事業所等との組合せ又は共同作業による商品開発や共同生産、生産力向上の支援
- 就労支援センタールンビニー（花巻市）とカリー亭（宮古市）との協働によるレトルトカレー商品製造企画の実施支援（3,083 袋 654,873 円）
  - かまいしワークステーション（釜石市）とえさしふれあい工房（奥州市）の協働による焼き菓子商品製造企画の実施支援（4 枚入 707 箱、381,780 円、10 枚入 3,023 箱 3,264,840 円）、県社協オリジナルギフト商品「三陸復興ギフト」（496 箱 422,139 円）
- ウ 企業、官公庁、消費者に対する事業所の自主生産製品及び請負作業の受注の支援
- (ア) ツルハドラックでの事業所自主生産製品販売の継続実施
- セルプわかたけ（宮古市）ラスク商品
- (イ) 沿岸部事業所の自主生産製品の受注支援（72 件、2,213,656 円）
- (ウ) 請負作業受注支援
- 希望郷いわて大会リハーサル大会のメダル製作業務の受注支援  
かだっぺし（メダル、缶バッチ製作 651,900 円）、わらび学園（メダルのやすりかけ作業 54,600 円）、かまいしワークステーション（ボールペン封入作業 7,700 円）、釜石市福祉作業所（ボールペン封入作業 21,000 円）
  - 高齢・障害求職者雇用支援機構岩手支部へのノベルティ請負  
わらび学園（大槌町）、遠野コロニー（遠野市）、キーホルダーと海図メモ帳の詰合せ（28,700 円）
  - 県鳥獣保護課ワッペン製作業務の受注支援  
松柏園、SELP わかたけへ情報提供。SELP わかたけで受注（8,640 円）
- エ 事業所の自主生産製品のPR、販売イベントの企画、情報提供
- 希望郷いわて国体大会での販売を含む 38 回のイベントに延べ 71 事業所が参加（総売上額



1,704,451 円)

オ 上記ア～エを達成するために必要な調査、課題把握

沿岸部障がい者就労支援事業所の自主生産商品販売及び役務・請負作業受託状況を調査

- 調査対象：84 事業所（就労継続支援、生活介護、地域活動支援センター、※多機能型を含む。）
- 回答：36 事業所（回収率 42.8%）
- 調査項目
  - ・ 震災被災直後（平成 23 年 10 月末現在）と現在（平成 28 年 10 月末現在）の比較
  - ・ 調査内容：事業形態、作業品目、自主生産商品の内容及び販売額、利用者平均工賃額、役務・請負作業受託状況、自主商品の販売促進や役務・請負作業受託拡大のための支援要望
- 結果概要
  - ・ 事業形態について  
事業形態に「変化あり」は、回答事業所のうち 6 事業所
  - ・ 作業品目について  
作業品目「増」と回答した事業所が 7 事業所、「減」と回答した事業所が 6 事業所、その他は「変化なし」か「作業を実施していない」との回答
  - ・ 自主生産商品の内容  
自主生産商品「増」と回答した事業所が 7 事業所、「減」と回答した事業所が 3 事業所、「増減なし」が 1 事業所  
生産増の理由としては、「新商品の開発」、「販売先の拡大」、「震災後の設備充実」、「就労支援振興センターのアドバイザー派遣で技術向上や販路の拡大」などが挙げられた。  
生産減の理由としては、「農産物の生産場所が遠く生産を見合わせている」、「農産物ではなく、催事等での売上げが期待できる加工食品への自主生産商品製造への移行」、「生産商品の販路確保にまで手が回らない」などの回答が挙げられた。
  - ・ 自主精算商品の販売額  
「売上増」と回答した事業所が 8 事業所、「売上減」と回答した事業所が 3 事業所であり、「増加額」は最大 14,924 千円であった一方、「減少額」は最大 577 千円であった。
  - ・ 利用者平均工賃額  
「増加した」と回答した事業所は 12 事業所、「減少した」と回答した事業所は 3 事業所であり、「増加額」は最大 19,318 円であった一方で、「減少額」は最大 2,909 円であった。なお、月額平均工賃額の増減平均は 1,277 円減
  - ・ 役務・請負作業受託  
役務・請負作業を受注していると回答した事業所は 15 事業所であり、「受託増」と回答した事業所は 13 事業所で、「受託減」と回答した事業所は 2 事業所

カ 共同受注窓口事業の推進

(ア) 商品販売、役務・請負売上総額 31,255,681 円、手数料収入 654,272 円

主な販売先：イオンスーパーセンター、イオンリテール、ななっく、マイヤ、遠野ふるさと公社、ツルハドラック等

(イ) 平成 29 年 3 月末加入事業所：74 事業所

(ウ) 希望郷いわて国体、いわて大会での販売

大会名	日 時	販売場所	参加事業所数	売上金額
国体競技	9 月 4 日 ～11 日	盛岡市総合プール、 盛岡駅前	14	386,370 円
国体本大会	10 月 1 日 ～11 日	北上総合運動公園 県営野球場	22	1,421,180 円
		県営運動公園 釜石市球技場	12	50,050 円
希望郷いわて大会	10 月 22 日 ～24 日	北上総合運動公園 盛岡駅前	17	765,060 円

(エ) 希望郷いわて大会リハーサル大会での販売

大会名	日 時	販売場所	参加事業所数	売上金額
希望郷いわて大会 リハーサル大会	6 月 4 日	北上総合運動公園	11	104,530 円
		県営運動公園	11	91,870 円

(オ) カタログ販売（岩手県産株式会社製作の国体商品カタログに掲載） 574,164 円

○ 希望郷いわて大会プランターボックス設置作業請負 3,476,412 円

○ 事業所露店販売手数料 625,714 円

○ 共同受注窓口事業運営委員会の開催

・ 第 1 回（6 月 14 日）

内容：平成 27 年度事業実施報告、平成 28 年度事業推進計画（案）

・ 第 2 回（12 月 26 日）

内容：事業推進計画 11 月末までの達成状況、今後の取組検討

・ 第 3 回委員会（3 月 14 日）

内容：2 月末実績、福井県セルフ振興センター及び福井県社会就労センター協議会視察報告、平成 29 年度共同受注センター事業推進計画、ホームページ「いわては一とふる図鑑セレクトショップ」の改善

○ 共同受注窓口事業先進地視察（3 月 9 日～10 日）

訪問先：福井県セルフ振興センター、福井県社会就労センター協議会

## (2) 適正なサービス評価の実施

### ① 福祉サービス第三者評価事業 [福祉経営支援部]

岩手県福祉サービス第三者評価機関として、県内福祉施設の評価を実施したほか、評価者養成研修会等を実施した。

ア 第三者評価の実施

15 事業所（障がい児（者）施設 6 か所、社会的養護関係施設 5 か所、保育所 4 か所）

イ 会議の開催

合議の開催 15 回、決定委員会の開催 15 回

ウ 研修会の開催

- (ア) 第三者評価調査者養成研修会（岩手県知事承認研修）  
開催日、会場、参加者：7月5日～8日、11日、ふれあいランド岩手、13名  
実習施設：社会福祉法人藤実会 特別養護老人ホーム都南あけぼの荘
- (イ) 福祉施設の自己評価担当者研修会  
開催日、会場、参加者：7月5日～6日、ふれあいランド岩手、50名
- (ウ) 評価調査者スキルアップ研修（評価調査者の会との共催研修）  
＜第1回＞  
開催日、会場、参加者：7月18日～19日、鶯宿温泉、25名  
＜第2回＞  
開催日、会場、参加者：10月15日、ふれあいランド岩手、27名

## 5 多様な組織等との連携協働

### (1) 種別協議会・部会活動を通じた福祉サービス向上の取組み、サービス利用者の福祉増進

#### ① 市町村社会福祉協議会部会事業 [地域福祉企画部]

##### ア 幹事会の開催

期日、会場：4月14日、2月16日、ふれあいランド岩手

##### イ 監査の実施

期日、会場：4月19日、ふれあいランド岩手

##### ウ 理事会の開催

期日、会場：4月19日、2月16日、ふれあいランド岩手

##### エ 総会の開催

期日、会場：4月19日、ふれあいランド岩手

##### オ 市町村社会福祉協議会会長懇談会の開催

期日、会場、参加者：7月11日、ホテルルイズ、50名

内容：基調報告「市町村社会福祉協議会を取り巻く諸課題と改革の動向」、説明「県社協事業の重点と27年度県との懇談会実施状況」、説明「改正労働契約法への対応」  
分散会（テーマ）「社会福祉法人制度改革」、「人材確保や人材育成、改正労働契約法への対応」、「介護保険事業の課題と新たな総合事業」

##### カ 岩手県と市町村社会福祉協議会部会との懇談会の開催

期日、会場、参加者：2月6日、岩手県庁8-L会議室 15名

内容：市町村社会福祉協議会の取組に係る要望（地域共生社会の実現に向けた市町村等への支援、生活支援相談員の継続配置、生活福祉資金相談員の継続配置と日常生活自立事業の専門員の増員、成年後見制度の拡充、国に対する適切な介護保険報酬の要望、東日本大震災により被災した社協の恒常的な活動拠点整備への支援）

##### キ 地域福祉活動計画策定委員会の開催

＜第1回＞

期日、会場：6月7日、ふれあいランド岩手

内容：委員長の選任、地域福祉活動計画未策定社協に対する支援方法の検討

＜第2回＞

期日、会場：8月9日、ふれあいランド岩手

内容：久慈地区及び北上地区での研究会の振り返りについて、今後の市町村社協に対する個別支援について

<第3回>

期日、会場：3月23日、ふれあいランド岩手、9名

内容：地域福祉活動計画未策定社協の状況と今後の支援について

ク 研究会の開催

(ア) 生活困窮者支援対策研究会の開催

期日、会場、参加者：1月25日、ホテル大観、16名

内容：講義、事例検討

(イ) 介護保険制度改正に関する研究会

生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーター配置が進んでいないためとりやめ。

(ウ) 法人改革研究会

・第1回法人改革研究会

期日：平成28年9月7日（ふれあいランド岩手）

参加者：39名

内容：説明・情報交換「社会福祉法人制度改革への対応について」

・第2回法人改革研究会

期日：平成28年11月28日（ふれあいランド岩手）

参加者：48名

内容：説明「社会福祉法人制度改革への対応について」

説明：「社会福祉法人制度改革の対応に係るアンケート調査結果について」

全体会・質疑応答「社会福祉法人制度改革への対応に関する質問への回答について」

・社会福祉法人制度改革に関する相談会

期日：平成28年11月30日（ふれあいランド岩手）

参加者：8名（4社協）

相談内容：「定款その他細則について」、「定款変更案の確認及び定款変更による諸規定の考え方について」、「理事会への提出資料確認及び評議員選任・解任委員への委嘱状の任期について」

(エ) 地域福祉活動計画策定に関する研究会

・第1回地域福祉活動計画策定に関する研究会

期日：平成28年7月21日（久慈市総合福祉センター）

参加者：11名

内容：講義「福祉課題の解決を目指す地域福祉活動計画の策定」

説明「行政と連携した地域福祉活動計画」

情報交換「地域福祉活動計画の策定に向けて」

・第2回地域福祉活動計画策定に関する研究会

期日：平成28年8月9日（北上市総合福祉センター）

参加者：14名

内 容：講義「福祉課題の解決を目指す地域福祉活動計画の策定～地域福祉活動計画の策定の意義を踏まえての評価を考える～」

説明「行政と連携した地域福祉活動計画の策定と見直し」

情報交換「地域福祉活動計画の策定と評価・検証について」

#### ケ 研修の実施

##### (ア) 新任職員研修

期 日：平成28年6月27日～28日（ふれあいランド岩手）

参加者：36名

内 容：説明「社会福祉協議会の基礎知識①～ボランティア活動の推進」

説明「社会福祉協議会の基礎知識②～生活困窮者自立相談支援事業、生活福祉資金貸付事業及び日常生活自立支援事業」

説明「社会福祉協議会の基礎知識③～コミュニティソーシャルワーカーの活動」

説明「社会福祉協議会の基礎知識④～社会福祉協議会職員の文書事務等」

活動事例紹介「先輩に聞く！私の社協活動」、グループ情報交換

##### (イ) 地域福祉活動先進地視察研修

期 日：平成28年8月29日～31日

視察先：札幌市社会福祉協議会

参加者：15名

内 容：説明：「札幌市社協の組織概要について」

説明：「札幌市社協の中期経営計画について」

説明：「札幌市・区社協の事業概要について」

説明：「新たな制度への対応について」

##### (ウ) 市町村社会福祉協議会部会トップセミナー

期 日：平成29年1月25日（ホテルルイズ）

参加者：50名

内 容：講演「チームマネジメント～強い組織（チーム）の条件～」

講演「社会福祉法人制度改革と社会福祉協議会をめぐる動向」

活動報告「県内市町村社協における新たな取組」

講演「いわて“おげんき”みまもりシステムの普及について」

#### コ 調査事業の実施

市町村社会福祉協議会役員名簿、社協の概要、市町村社協福祉サービス等実施状況調査報告書を作成。

## ② 種別協議会活動推進事業 [福祉経営支援部]

### ア 社会福祉法人経営者協議会

#### (ア) 会議の開催

##### a 総会

期日、会場：3月2日、ふれあいランド岩手

b 幹事会・正副会長会議（同日開催）

期日、会場：5月10日（ふれあいランド岩手）、9月29日（ふれあいランド岩手）、  
2月22日（岩手県民会館）

(イ) 研修会の開催

a あんしんサポート相談員養成研修

期日、会場、参加者：6月2日（ふれあいランド岩手、35名）、2月15日（ホテル東日本盛岡、49名）

内容：あんしんサポート相談員の養成

b 監事研修

期日、会場、参加者：7月7日、ホテルルイズ、222名

内容：監事監査の基本と具体的な進め方等

c 制度改革対応セミナー

期日、会場、参加者：7月27日（ホテル東日本盛岡、237名）、11月24日（ホテル東日本盛岡、243人）

内容：社会福祉法改正のポイント等

d 合同経営実践研修会（中長期経営計画策定研修・防犯対策研修）

期日、会場、参加者：1月27日、ふれあいランド岩手、76名

内容：中長期経営計画策定研修及び防犯対策研修

e あんしんサポート相談員情報交換会（スキルアップ研修）

期日、会場、参加者：2月15日、ホテル東日本盛岡、25名

内容：債務整理に関する講義、情報交換

f 岩手県社会福祉法人会計実務者決算講座

期日、会場、参加者：2月23日、ふれあいランド岩手、110名

内容：会計処理、決算実務のポイント等

g 管理者セミナー

期日、会場、参加者：3月2日、ふれあいランド岩手、98名

内容：福祉人材確保・定着について

(ウ) 関係機関団体との連携

a 北海道・東北ブロック協議会会長会議

期日、会場：4月19日（ホテル法華クラブ仙台）、6月14日（ホテル法華クラブ仙台）、10月19日（秋田キャッスルホテル）、11月14日（ホテル法華クラブ仙台）、12月13日（ホテル法華クラブ仙台）、1月14日（ホテル法華クラブ仙台）、2月14日（ホテル法華クラブ仙台）

b 北海道・東北ブロック協議会会議

期日、会場：7月28日、ホテルJALCITY仙台

c 全国社会福祉施設経営者大会

期日、会場：9月14日～15日、ホテル日航熊本

d 北海道・東北ブロックセミナー

期日、会場：10月18日～19日、秋田キャッスルホテル

## イ 保育協議会

### (ア) 会議の開催

#### a 総会

期日、会場：3月25日、ふれあいランド岩手

#### b 常任委員会

期日、会場：4月28日、6月6日、3月9日、ふれあいランド岩手

#### c 正副会長会議

期日、会場：3月9日、ふれあいランド岩手

### (イ) 研修会の開催

#### a 岩手県保育研究大会

期日、会場、参加者：6月9日～10日、花巻温泉、419名

内容：分科会研究発表(3分科会 23施設)

#### b 実技講習会

期日、会場、参加者：3月21日、ふれあいランド岩手、36名

内容：伝承あそび

#### c 岩手県保育指導者セミナー（第1回）

期日、会場、参加者：12月1日、ふれあいランド岩手、74名

内容：ICT、絵本ライブ

#### d 岩手県保育指導者セミナー（第2回）

期日、会場、参加者：3月25日、ふれあいランド岩手、65名

内容：キャリアアップ研修、災害対応の実際

#### e 「平成29年度保育研究大会」研究テーマ研修会

期日、会場、参加者：12月15日、ふれあいランド岩手、100名

内容：発表原稿の作成及び発表の留意点についての講義、参考発表

### (ウ) 部会、委員会の開催

#### a 保育所長部会

期日、会場、参加者：2月17日、メトロポリタン盛岡、161名

内容：保育所保育士指針

#### b 保育者部会

期日、会場、参加者：1月25日、ふれあいランド岩手、90名

内容：虐待対応

#### c 専門委員会（調査研究・制度政策）

期日、会場：3月9日、ふれあいランド岩手

内容：新制度における課題

## ウ 児童福祉施設協議会

### (ア) 会議の開催

#### a 幹事会

期日、会場：5月10日、3月17日、ふれあいランド岩手

- b 正副会長会議  
期日、会場：2月16日、ふれあいランド岩手
- c 専門委員会  
期日、会場：5月31日、7月21日、11月8日、2月21日、ふれあいランド岩手
- (イ) 会員情報ホームページの運営  
ホームページによる施設情報の更新を行った。
- (ウ) 県との意見情報交換会  
期日、会場：5月10日
- (エ) 研修会の開催
  - a 児童福祉施設職員研修会  
期日、会場、参加者：12月19日～20日、ことりさわ学園、20名  
内容：講義「福祉施設の人材確保と定着」ほか
  - b 施設間交流研修会  
期日、会場、参加者：11月8日、岩手県立盛岡峰南高等支援学校、24名  
内容：岩手県立盛岡峰南高等支援学校の概要説明・見学、講演「生き方学習について」ほか
  - c 福祉の心を学ぶ観劇会  
期日、会場、参加者：11月5日、都南文化会館、410名  
内容：演劇「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち」公演：東京演劇集団 風
- (オ) 研修参加への助成  
研修助成事業として、3施設に対し各3万円を助成した。  
(大洋学園、一関藤の園、和光学園)
- エ 児童館・放課後児童クラブ協議会
  - (ア) 会議の開催
    - a 総会  
期日、会場：3月13日、ふれあいランド岩手
    - b 幹事会  
期日、会場：5月9日、2月1日、2月27日、ふれあいランド岩手、アイーナ
    - c 正副会長会議  
期日、会場：2月27日、ふれあいランド岩手
    - d 第1回館長等委員会、児童厚生員・放課後児童指導員等委員会  
期日、会場：5月9日、ふれあいランド岩手  
内容：「いわて児童館・放課後児童クラブ台帳2016」内容等について
    - e 第2回館長等委員会、児童厚生員・放課後児童指導員等委員会  
期日、会場：2月1日、アイーナ  
内容：平成28年度事業の進捗状況等について
  - (イ) 研修会の開催
    - a 児童健全育成関係者レベルアップ研修会  
＜第1回＞



期日、会場、参加者：6月21日、ふれあいランド岩手、105名

内容：児童厚生二級認定科目「児童館論」、「放課後児童クラブ論」

<第2回>

期日、会場、参加者：12月5日、ふれあいランド岩手、76名

内容：児童厚生二級認定科目「集団援助活動」

b 児童館職員等研修会

期日、会場、参加者：10月21日、ふれあいランド岩手、65名

内容：児童厚生二級認定科目「配慮を要する児童の対応」

c 実技研修会

期日、会場、参加者：9月23日、ふれあいランド岩手、66名

内容：児童厚生二級認定科目「ゲーム・運動遊び」、「表現活動」

d 館長・リーダー職員研修会

期日、会場、参加者：3月13日、ふれあいランド岩手、25名

内容：先進事例についての講演

(ウ) 助成事業の実施

a 各ブロック協議会活動助成

助成金額：202,000円（11ブロックへ10,000円+1,000円×92施設数を助成）

b 全国児童館・放課後児童クラブ大会助成

助成額：50,000円（1名）

(エ) いわて子どもあそび隊の活動

現地の訪問活動（21回）、おうえん隊活動（8回）、あそびのキット作成（1回）

オ 障がい者福祉協議会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場：3月14日、ふれあいランド岩手

b 幹事会

期日、会場：4月18日、9月20日、3月6日、ふれあいランド岩手

c 正副会長会議

期日、会場：2月22日、ふれあいランド岩手

(イ) 研修会の開催

a 虐待防止と権利擁護に関する研修会の開催

期日、会場、参加者：8月29日、ふれあいランド岩手、51名

b サービス管理責任者フォローアップ研修会

期日、会場、参加者：12月9日、ふれあいランド岩手、72名

内容：説明「障害者差別解消法及び改正障害者総合支援法について」他

c グループホーム運営の課題と今後を考える！「グループホームセミナー」

期日、会場、参加者：9月24日、ふれあいランド岩手、83名

内容：講演「グループホームの課題と今後」

(ウ) 委員会、部会の開催

- a 研修委員会  
期日、会場：5月24日、9月7日、ふれあいランド岩手
- b 調査研究員会  
期日、会場：5月16日、1月23日、ふれあいランド岩手  
内容：平成28・29年度調査研究事業「地域移行に係るグループホーム実態調査」の実施
- c 社会就労部会
  - ・「販売力強化セミナー」  
期日、会場、参加者：8月3日、ふれあいランド岩手、41名  
内容：講義「食品調理(製造)・販売時の衛生管理について」ほか
- d 障がい児支援部会
  - ・研修会  
期日、会場、参加者：8月23日、ふれあいランド岩手、49名  
内容：講演「各発達段階における子どもの育ち」ほか
- e 障がい者生活支援部会
  - ・研修会  
期日、会場、参加者：12月1日、ふれあいランド岩手、79名  
内容：講演「障害者差別解消法について」
- (エ) 他団体等との連携
  - a 東北地区社会就労センター協議会との連携
    - ・第1回施設長連絡会議  
期日、会場：8月1日～2日、一関文化センター
    - ・第2回施設長連絡会議  
期日、会場：2月16日～17日、ホテルルイズ
  - b 全国社会就労センター協議会協議員総会との連携
    - ・協議員総会  
期日、会場：5月、2月、全社協
- (オ) その他
  - a 会員施設現況調査の実施
  - b 災害義援金を活用した本県及び他県被災事業所への支援
    - ・受付期間：平成28年4月25日～5月31日  
義援金総額：1,110,000円  
配分先等：
      - ・全国社会就労センター協議会  
配分額 360,000円(送金日：6月17日)
      - ・日本知的障害者福祉協会  
配分額 360,000円(送金日：6月10日)
      - ・熊本県身体障害児者福祉協議会  
配分額 390,000円(送金日：6月17日、3月17日)
    - ・東日本大震災被災事業所への義援金配分

配分総額、送金日：1,927,000 円、9 月 28 日

配分先：建物流失及び全壊 100,000 円(9 事業所)、建物半壊 79,000 円 (13 事業所)

- ・ 台風 10 号による被災事業所への支援

第 1 次義援金配分

配分総額、送金日：258,000 円、10 月 28 日

配分先：被災事業所 3 事業所

第 2 次義援金配分

配分総額、送金日：561,469 円、1 月 20 日

配分先：被災事業所 4 事業所

- ・ 救護施設松山荘(宮古市)からの避難者支援に係る職員派遣

派遣期間：平成 29 年 9 月 8 日～11 月 7 日

派遣先：障害者支援施設「松風園」

派遣人数：42 名(延べ人数)

支援内容：松山荘からの避難した利用者支援

- c 障がい者を持つ人が働くことや地域で暮らすことへの支援

- ・ 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催を契機とした会員事業所商品の販売促進と販路拡大

- 共同企画オリジナル商品パッケージ、国体・障スポシールの作成・販売

作成内容	販売実績
いわて発めんけえサブレスくさくさくやきっち商品パッケージ	229,200
いわてのめぐみスープ商品パッケージ	11,400
岩手珈琲物語商品パッケージ	3,500
国体・障スポシール	74,360
合 計	318,460

- 競技会場での販売コーナーの設営

- ・ 第 16 回全国障害者スポーツ大会リハーサル大会(期日：平成 28 年 6 月 4 日)

販売場所	事業所数	売上額
北上総合運動公園(県社協コーナー)	10	104,530
県営運動公園(県社協コーナー)	9	91,870
北上総合運動公園(露店販売)	10	533,010
県営運動公園(露店販売)	13	479,522
合 計		1,208,932

- ・ 第 71 回国民体育大会 ※ 希望郷いわて国体

水泳競技(期日：平成 28 年 9 月 4 日～11 日)

販売場所	事業所数	売上額
いわておもてなしパビリオン(県社協コーナー)	9	96,710
盛岡市総合プール(県社協コーナー)		289,660
盛岡市総合プール(露店販売)	5	1,178,960
合 計		1,565,330

本大会(平成 28 年 10 月 1 日～11 日)

販売場所	事業所数	売上額
北上総合運動公園(県社協コーナー)	22	944,970
県営野球場(県社協コーナー)		181,940
県営運動公園(県社協コーナー)		244,220
釜石球戯場(県社協コーナー)	12	50,050
露店販売(北上総合運動公園、盛岡市内競技会場)	9	962,930
合 計		2,384,110

・ 第 16 回全国障害者スポーツ大会 (平成 28 年 10 月 22 日～24 日)

販売場所	事業所数	売上額
北上総合運動公園(県社協コーナー)	17	588,450
いわておもてなしパビリオン(県社協コーナー)		176,610
露店販売(北上総合運動公園、盛岡市内競技会場)	17	2,810,946
合 計		3,576,006

d 2016 ナイスハートバザール in いわて

期日、会場、参加施設：11 月 19 日～20 日、イオンモール盛岡南、33 施設  
来客者数、売上総額：のべ 853 名、719,505 円

e 「ツルハドラック」常設販売(通年)

f 働く利用者の集い

期日、会場、参加者：7 月 23 日、ふれあいランド岩手、48 名

内容：グループトーク「働くことややりがいや喜び、悩みや不安を語りあう」ほか

g 社会就労部会事業検討会

期日、会場：5 月 17 日、6 月 20 日、11 月 14、1 月 12 日、ふれあいランド岩手

h 希望郷いわて国体・大会営業販売・小委員会

期日、会場：4 月 4 日、ふれあいランド岩手

カ 高齢者福祉協議会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場：3 月 10 日、ふれあいランド岩手

b 幹事会

期日、会場：6 月 14 日、1 月 31 日、ふれあいランド岩手

c 正副会長会議

期日、会場：6 月 14 日、8 月 3 日、9 月 6 日、12 月 12 日、ふれあいランド岩手

(イ) 研修会の開催

a 平成 28 年度介護施設職員と専門学校生のレクリエーション交流・情報交換会

期日、会場、参加者：7 月 22 日、マリオス、76 名

内容：レク交流・講演・情報交換

b 平成 28 年度東北ブロック老人福祉施設大会

期日、会場、参加者：5 月 12 日、メトロポリタン盛岡 NEW WING、276 名

- 内容：東北ブロック老人福祉施設協議会総会、講演
- c 平成 28 年度岩手県高齢者福祉研究会  
 期日：8 月 22～23 日、アイーナ、242 名  
 内容：講演「高齢者虐待防止や権利擁護、施設の危機管理について」ほか
- d 公益社団法人全国老人福祉施設協議会平成 28 年度認知症介護実践者研修《岩手会場》  
 期日、会場、参加者：講義 1 月 16 日～20 日、実習 1 月 23 日～2 月 17 日、まとめ 2 月 28 日、ふれあいランド岩手、56 名  
 内容：認知症介護実践者の養成
- e 社会福祉法人改革対策セミナー  
 期日、会場、参加者：2 月 14 日、ふれあいランド岩手、69 名  
 内容：全国老施協モデル定款例・規定の公表・説明等
- (ウ) 委員会の開催
- a 制度政策委員会  
 期日、会場：6 月 14 日、ふれあいランド岩手  
 内容：地域公益活動等の取組みについて
- b 調査研究委員会  
 <第 1 回>  
 期日、会場：4 月 21 日、ふれあいランド岩手  
 内容：平成 28 年度岩手県高齢者福祉研究会について等  
 <第 2 回>  
 期日、会場：7 月 19 日、ふれあいランド岩手  
 内容：平成 28 年度岩手県高齢者福祉研究会について等
- c 総務委員会  
 期日、会場：6 月 13 日、ふれあいランド岩手  
 内容：介護人材の確保・育成に関する取組について等
- d 総務委員会広報会議  
 期日、会場：12 月 22 日、ふれあいランド岩手  
 内容：合同広報紙「つながり Vol.19」の発行について
- e 21 世紀委員会  
 <第 1 回>  
 期日、会場：4 月 28 日、ふれあいランド岩手  
 内容：平成 28 年度の事業推進について  
 <第 2 回>  
 期日、会場：6 月 10 日、岩手県民会館  
 内容：平成 28 年度スポーツ交流・情報交換会について等  
 <第 3 回>  
 期日、会場：2 月 10 日、アイーナ  
 内容：平成 28 年度事業の振り返りについて等  
 平成 28 年度フォトコンテスト開票

応募総数 57 作品 (37 施設)、総投票数 392 票 (6 校)

入賞作品数 9 作品 (最優秀賞 1 作品、優秀賞 4 作品、佳作 4 作品)

- f 特別養護老人ホーム部会  
社会福祉法人改革対策セミナー (再掲) 共催
- g 養護老人ホーム部会  
社会福祉法人改革対策セミナー (再掲) 共催  
＜第 1 回＞  
期日、会場：7 月 1 日、ふれあいランド岩手  
内容：平成 28 年度の重点取組み事項等  
＜第 2 回＞  
期日、会場：11 月 17 日、ふれあいランド岩手  
内容：入所判定委員会開催の措置権者への要望について等  
＜第 3 回＞  
期日、会場：1 月 18～19 日、ホテル紫苑  
内容：人材確保・育成等の講演等
- h 軽費老人ホーム・ケアハウス部会  
社会福祉法人改革対策セミナー (再掲) 共催  
＜第 1 回＞  
期日、会場：6 月 17 日、アイーナ  
内容：第 30 回東北ブロック軽費老人ホーム施設長及び職員研究大会について等  
＜第 2 回＞  
期日、会場：1 月 13 日、ふれあいランド岩手  
内容：岩手県生活衛生営業指導センター等との懇談等
- i デイサービスセンター部会  
社会福祉法人改革対策セミナー (再掲) 共催
- j 認知症高齢者グループホーム等部会  
社会福祉法人改革対策セミナー (再掲) 共催
- (エ) その他
  - a 岩手県保健福祉部長寿社会課との意見交換会  
期日、会場：8 月 3 日、ふれあいランド岩手  
内容：平成 28 年度予算の概要等
  - b 岩手県介護福祉士養成施設協会との意見交換会  
期日、会場：8 月 3 日、ふれあいランド岩手  
内容：若年層の新規参入促進等について等
  - c 防災会議  
＜第 1 回＞  
期日、会場：6 月 24 日、ふれあいランド岩手  
内容：防災地図の進捗状況について等  
＜第 2 回＞

期日、会場：10月7日、特別養護老人ホーム三陸園

内容：民間へり活動型防災訓練の視察等

<第3回>

期日、会場：3月21日、特別養護老人ホーム三陸園他

内容：民間へり活動型防災訓練の視察及び参加等

<第4回>

期日：2月19日、ふれあいランド岩手

内容：防災地図の進捗状況について等

## (2) 多様な組織等との連携協働の推進

### ① 介護等体験受入調整事業 [福祉経営支援部]

#### ア 介護等を体験した学生

	大学	短大	計
県内	402名	0名	402名
県外	11名	0名	11名
計	413名	0名	413名

#### イ 体験を受け付けた学校数

	大学	短大	計
県内	4校	0校	4校
県外	8校	0校	8校
計	12校	0校	12校

#### ウ 受け入れた施設数

79施設

### ② 事務受託団体支援事業 [総務部・地域福祉企画部・福祉経営支援部・福祉人材研修部]

#### ア 公益財団法人 岩手県福祉基金

平成28年度事業計画に基づき38件、9,112千円の助成を行ったほか、各種団体等から8件1,044,655円の寄付を受け入れ基本財産に組み入れ、基本財産は1,135,731,310円となった。

[助成の内訳]

助成区分	件数	金額(千円)
1-① 社会福祉団体活動に対する助成	36件	7,812
1-② 社会福祉団体活動に対する助成(特別助成事業)	1件	1,000
2 社会福祉施設整備事業に関する助成	0件	0
3 社会福祉従事者研修事業に対する助成	0件	0
4 社会福祉の啓発及び顕彰事業に対する助成	1件	300
計	38件	9,112

#### イ 岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会

- (ア) 会議の開催
  - a 総会  
期日、会場：3月16日、ふれあいランド岩手
  - b 理事会  
期日、会場：4月26日、7月8日、3月7日、ふれあいランド岩手
  - c 正副会長会議  
期日、会場：2月13日、ふれあいランド岩手
  - d 監査  
期日、会場：4月26日、ふれあいランド岩手
  - e 調査研究委員会  
期日、会場：4月26日、7月8日、ふれあいランド岩手
  - f 広報地区支援委員会  
期日、会場：4月26日、7月8日、ふれあいランド岩手
- (イ) 東日本大震災被災地への支援  
岩手県災害福祉広域推進機構の構成団体として、岩手県災害派遣福祉チーム員の派遣等に協力
- (ウ) 調査研究活動  
岩手県内の地域包括・在宅支援センターを対象に「地域包括ケアのための体制整備」をテーマに調査を実施、100センターから回答
- (エ) 研修活動
  - a 平成28年度岩手県地域包括・在宅介護支援センターフォーラム  
期日、会場、参加者：9月9日、アイーナ 106名  
内容：講演「地域包括ケアと地域福祉の推進について」、パネルディスカッション他
  - b 平成28年度地域包括・在宅介護支援センター職員研修会  
期日、会場、参加者：8月5日、ケアセンター南昌、135名  
内容：講演「地域包括ケアの推進とケアマネジャーの役割」ほか
- (オ) その他
  - a 広報活動
    - ・岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会ホームページを活用した情報提供
    - ・広報発行「広報つながり vol.19」 高齢協合同発行
  - b 政策提言、意見要望
    - ・岩手県障がい者福祉協議会との意見交換会  
期日、会場：2月13日、ふれあいランド岩手  
内容：岩手県における地域包括ケア推進の現状と課題についての意見交換ほか
  - c 地区協議会活動の推進  
5つの地区協議会の活動のために活動費を交付。345,000円。
- ウ 岩手県ホームヘルパー協議会
  - (ア) 会務運営
    - a 定時総会



期日、会場、参加者：5月23日、ふれあいランド岩手、11名（委任状39通）  
内容：平成27年度事業報告・収支決算/平成28年度事業計画・収支予算/  
監事の選出/永年勤続表彰2名（会長表彰）

b 監査

期日、会場、参加者：4月18日、ふれあいランド岩手、3名

c 理事会：3回

<第1回>期日、会場：4月18日、ふれあいランド岩手

<第2回>期日、会場：9月27日、ふれあいランド岩手

<第3回>期日、会場：3月16日、ふれあいランド岩手

(イ) 研修会の実施

a 岩手県ホームヘルパー協議会ホームヘルプセミナー

期日、会場、参加者：5月23日、ふれあいランド岩手、32名

説明：「岩手県における特殊詐欺の現状と協力防止依頼について」

講演：「若年性レビー小体認知症の夫と共に生きて」

b 岩手県ホームヘルパー協議会第2回ホームヘルプセミナー

期日、会場、参加者：3月23日、ふれあいランド岩手、27名

内容：行政説明、ホームヘルパーにおけるアンガーマネジメント

c 岩手県ホームヘルパー協議会現任者研修会

<第1回>

期日、会場、参加者：10月7日、ふれあいランド岩手、午前16名/午後20名

内容：午前「身近な材料を使って調理できる栄養バランスに配慮した食事」

午後「医療と介護の連携について」

<第2回 ※当初8月30日開催予定が台風10号の影響で延期>

期日、会場、参加者：11月15日、ふれあいランド岩手、13名

内容：「身近な材料を使って調理できる栄養バランスに配慮した食事」

エ 一般社団法人岩手県介護福祉士会

(ア) 会務運営

a 定時総会

期日、会場、参加者：5月22日、マリオス、29名（会員546名、委任状256通）

内容：平成27年度事業報告・決算/平成28年度事業計画・予算/役員を選任

b 監査

期日、会場、参加者：4月9日、ふれあいランド岩手、3名

c 理事会：5回

<第1回>期日、会場：4月9日、ふれあいランド岩手

<第2回、第3回>期日、会場：5月22日（午前・午後）、マリオス

<第4回>期日、会場：9月3日、ホテル千秋閣

<第5回>期日、会場：3月19日、ふれあいランド岩手

d 広報紙「かいご通信」の発行：1回（3月）

(イ) 研修会の実施

a 岩手県社会福祉士会との合同研修会

期日、会場、参加者：5月22日、マリオス、35名（当会会員）  
報告：熊本地震に係る岩手県災害派遣福祉チームの活動について  
研修会：「地域包括ケアにおける社会福祉士、介護福祉士の役割」

b 介護福祉士初任者研修会

期日、会場、参加者：7月14日～16日、ふれあいランド岩手、16名

c 介護福祉士現任者研修会（岩手中央広域支部担当）

期日、会場、参加者：9月3日、ホテル千秋閣、40名

研修：講演&実技「腰痛について」～予防とケア～

d 実習指導者特別講習会

期日、会場、参加者：11月28日～29日、12月12日～13日、  
ふれあいランド岩手、39名

e 介護福祉士国家試験受験対策筆記模擬試験

期日、会場、参加者：12月8日、ふれあいランド岩手、  
11名（申込者19名）

f お悩みホットライン&カイゴカフェ

期日、会場、参加者：開催日：毎月第2土曜日（年間12回）、ふれあいランド岩手  
年間参加者 カイゴカフェ26名、ホットライン3名（来所含）

g 「介護の日フェスタ2016」の開催

期日、会場平成11月13日（日）、イオンモール盛岡南、約800名

内容：介護の日チラシとオリジナルクリアファイルの配布、介護福祉士会員お手製  
バルーンアートプレゼント、介護の写真展示コーナー、福祉用具&介護機器  
展示コーナー、「介護のこと」相談コーナー、介助犬ぼくたちのお仕事紹介  
コーナー

オ 岩手県介護支援専門員協会

(ア) 会務運営

a 定時総会

期日、会場、参加者：6月19日、岩手県公会堂、348名（委任状1,820通）  
内容：平成27年度事業報告・収支決算／平成28年度事業計画・収支予算／  
役員を選任について／居宅介護支援費の利用者負担導入に反対する  
決議書の提出について

b 監査

期日、会場、参加者：5月26日、ふれあいランド岩手、3名

c 理事会：3回

<第1回>期日、会場：4月22日、ふれあいランド岩手

<第2回>期日、会場：6月19日、岩手県公会堂

<第3回>期日、会場：3月29日、岩手県民会館

d 役員会：3回

<第1回>期日、会場：6月27日、ふれあいランド岩手

<第2回>期日、会場：8月8日、ふれあいランド岩手

<第3回>期日、会場：9月21日、久慈グランドホテル

e 正副会長会議：1回

期日、会場、参加者：9月9日、ふれあいランド岩手、5名

(イ) 研修会の実施

<第1回>第1回定例研修会

期日、会場、参加者：6月19日、岩手県公会堂、参加者448名

行政説明：「介護予防・日常生活支援総合事業、介護人材確保対策、居宅介護支援事業所における特定事業所加算について

説明Ⅰ：「かかりつけ薬剤師をもちましよう！～すべては地域のために～」

説明Ⅱ：「岩手県における特殊詐欺の現状と防止協力依頼について」

講演：「介護支援専門員不要論を払拭するために～法改正と私たちの役割を今いちど考える～」

<第2回>第2回定例研修会

期日、会場、参加者：9月21日、久慈グランドホテル、74名

講義：「医療・異分野連携の基礎的理解とその方法」

演習：ワールドカフェ方式のグループワーク

「人をつなぎ、人がつながる地域社会の可能性」

事例紹介：「北三陸ネットの取組紹介」

活動報告：「熊本地震に係る岩手県災害派遣福祉チームの活動報告」

<第3回 岩手県委託研修 運営：岩手県介護支援専門員協会>

平成28年度在宅医療人材育成研修事業

期日、会場、参加者：9月29日、江刺総合コミュニティセンター、36名

講義：「地域で行われている在宅医療と連携機関との構築」

講義：「在宅医療に係る制度及び施設における医療的ケア」

グループワーク：「医療との連携、課題と今後の対応」

講義：「自宅及び施設における医療とケアマネジメント」

<第4回 日本介護支援専門員協会研修会 運営：岩手県介護支援専門員協会>

日本介護支援専門員協会東北ブロック研修会

期日、会場、参加者：10月23日、マリオス、95名

説明：「日本介護支援専門員協会の取組み」

講義：「介護支援専門員不要論を払拭するために～法改正と私たちの役割を今いちど考える～」

活動報告：「熊本地震に係る岩手県災害派遣福祉チームの活動報告」

(ウ) 関係機関会議

日本介護支援専門員協会東北ブロック会議

期日、会場、参加者：10月22日、エスポワールいわて、20名

(エ) 災害対応

a 台風10号による被災地訪問（神崎会長による実態把握調査）

期日、訪問市町村

・9月2日、陸前高田市、大船渡市、釜石市、宮古市、岩泉町、久慈市の自治体、地域包括センター、デイサービスセンター、地域密着型施設、医療機関

・9月5日、岩泉町役場、町民会館（避難所）

- ・9月7日、遠野市役所、地域包括センター、住田町役場、陸前高田市役所、地域包括センター
  - b 岩手県災害派遣福祉チーム構成員としての支援活動
    - 先遣隊活動、チーム員活動、神崎会長による派遣チーム、事務局、岩手県庁等との連絡調整、助言
  - c 台風10号被害における日本介護支援専門員協会への情報提供、連絡調整
    - ・日本介護支援専門員協会会長への被災地状況説明・情報交換会の開催  
期日、会場、参加者：12月3日、ホテルメトロポリタンニューウイング、7名
    - ・被災地視察  
期日、会場、参加者：12月4日、岩泉町、宮古市の被災施設視察、7名
  - d 会員、会員施設への支援の検討
    - 被害状況調査及び調査を踏まえた会員、会員施設への会費免除等支援の検討協議（第3回理事会開催時）
  - e 神崎会長による関係機関（岩手県庁、県内市町村、国の機関、団体等）への情報提供・提言及び法律、制度の弾力的運用の検討
- カ 岩手県知的障害者福祉協会
- (ア) 会議の開催
    - a 総会  
期日、会場：4月21日、ふれあいランド岩手
    - b 理事会  
期日、会場：4月14日、4月21日、5月21日、12月6日、3月16日、ふれあいランド岩手
    - c 正副会長会議  
期日、会場：3月8日、ふれあいランド岩手
  - (イ) 研修・指導
    - a 施設長等職員研修会  
期日、会場、参加者：12月1日、ふれあいランド岩手、79名  
内容：講演「障害者差別解消法について」
    - b 岩手県知的障害者施設職員研修大会  
期日、会場、参加者：1月13日、ふれあいランド岩手、155名  
内容：行政説明「岩手県における今後の障がい者施策について」ほか
    - c 新任職員研修会  
期日、会場、参加者：7月26日～27日、渡り温泉さつき、45名  
内容：講義「障がい福祉の歴史～利用者主体と権利擁護の歩み～」ほか
    - e 職員研修費助成事業の実施  
4事業所へ総額331,100円を助成
  - (ウ) 部会等の開催
    - a 部会会議  
期日、会場：4月21日、ふれあいランド岩手  
内容：部会代表者の選出についてほか

- b 児童発達支援部会(障がい協との共催)
  - 期日、会場、参加者：8月23日、ふれあいランド岩手、49名
  - 内容：講演「各発達段階における子どもの育ち」ほか
- c 障害者支援施設部会(障がい協県南ブロックとの共催)
  - 期日、会場、参加者：12月5日、さくらホール、60名
  - 内容：講演「重度・高齢障がい者の支援を考える」ほか
- d 日中活動支援部会
  - 期日、会場、参加者：2月27日、アイーナ、39名
  - 内容：講演「虐待防止と意思決定支援」
- e 生産活動・就労支援部会
  - 期日、会場、参加者：3月24日、ふれあいランド岩手、39名
  - 内容：講演「罪を犯した知的障がい者の支援について」ほか
- f 地域支援部会(障がい協との共催)
  - 期日、会場、参加者：9月24日、エスポワールいわて、83名
  - 内容：講演「グループホームの課題と今後」
- g 相談支援部会(平成28年度障害児・者相談支援事業全国連絡協議会・全国相談支援ネットワーク北海道・東北ブロック合同研修会後援)
  - 期日、会場：11月17日～18日、花巻温泉
  - 内容：行政説明 他
- h 支援スタッフ委員会
  - 期日、会場、参加者：2月14日、ふれあいランド岩手、38名
  - 内容：基調報告 他
- (エ) 専門委員会
  - a 人権・倫理委員会
    - 期日、会場：9月21日、12月6日、12月15日、ふれあいランド岩手
    - 内容：人権・倫理委員会の今後の取組について 他
  - b 危機管理委員会
    - 期日、会場：5月31日、8月9日、9月20日、ふれあいランド和て
    - 内容：危機管理要領の見直しについて 他
  - c 研修・事業委員会
    - 期日、会場：5月31日、ふれあいランド岩手
    - 内容：研修会の企画
- (オ) 他団体等の連携
  - a 障がい者関係団体との意見交換会への出席
  - b 日本知的障害者福祉協会との連携・協力
  - c 東北地区知的障害者福祉協会との連携・協力
  - d 岩手県社会福祉協議会 障がい者福祉協議会との連携
- (カ) その他
  - a 平成28年熊本地震に係る義援金募集及び配分

受付期間：平成 28 年 4 月 21 日～5 月 16 日

義援金総額：890,515 円

送金先：日本知的障害者福祉協会

- b 広報・機関紙「県知福協ニュース」の発行(1 回)
- c 会員施設状況調査として実施
- d その他各種調査・研究  
各施設における虐待防止に向けた取組及び虐待の実態調査の実施
- e 第 20 回スポーツ交流会  
期日、会場、参加者：11 月 5 日、紫波町総合体育館、347 名
- f 岩手県知的障害児者サポート協会
  - ・会員数：1,670 名
  - ・総会：4 月 14 日
  - ・障がい者スポーツ振興費助成事業（6 団体へ総額 1,200,000 円を助成）

キ 東北地区社会就労センター協議会

(ア) 会議の開催

- a 総会  
期日、会場、出席者：6 月 16 日～17 日、秋田県「秋田県社会福祉会館」、29 事業所  
内容：議事、基調講演「社会就労センターを取り巻く状況と課題」ほか
- b 役員会  
期日：6 月 16 日、8 月 1 日、2 月 16 日

(イ) 研修会等の開催

- a 施設長連絡会議
  - <第 1 回>  
期日、会場、参加者：8 月 1 日～2 日、岩手県「一関文化センター」、41 名  
内容：情勢報告、講演「改正社会福祉法～今後、社会福祉法人はどうあるべきか～」ほか
  - <第 2 回>  
期日、会場、参加者：2 月 16 日～17 日、岩手県「ホテルルイズ」、35 名  
内容：講演「施設における防犯対策について」ほか
- b 職員研修委員会  
期日、会場、参加者：5 月 24 日～25 日、青森県「青森国際ホテル」、研修委員 8 名
- c 職員研修会  
期日、会場、参加者：9 月 13 日～14 日、青森県「青森国際ホテル」、71 名  
内容：基調講演「社会就労センター職員に求められる視点」他

(ウ) その他

機関紙とうほくセルブ協通信の発行

ク 岩手県里親会

(ア) 会議の開催

- a 理事会
  - <第 1 回>

- 期日、会場：5月18日、ふれあいランド岩手  
 <第1回臨時理事会>  
 期日、会場：12月3日、ホテルルイズ  
 <第2階臨時理事会>  
 期日、会場：3月27日、ふれあいランド岩手
- b 監査  
 期日、会場：5月18日、ふれあいランド岩手
- c 正副会長会議  
 <第1回>  
 期日、会場：4月13日、ふれあいランド岩手  
 <第2回>  
 期日、会場：8月20日、ふれあいランド岩手  
 <第3回>  
 期日、会場：11月18日、ふれあいランド岩手  
 <第4回>  
 期日、会場：3月27日、ふれあいランド岩手
- (イ) 岩手県里親大会の開催（岩手県子ども虐待防止フォーラムとの併催）  
 期日、会場：8月22日、岩手県民会館  
 内容：岩手県知事感謝状贈呈、岩手県里親会会長表彰、体験発表
- (ウ) 岩手県里親交流研修会の開催  
 期日、会場、参加者：12月3日、ホテルルイズ、30人  
 内容：行政説明、講義、情報交換
- (エ) 広報紙の発行  
 「里親いわて第41号」の発行（320部）
- (オ) 表彰の実施
- ・ 全国里親大会表彰（3組）
  - ・ 岩手県知事感謝状（16組21名）
  - ・ 岩手県里親会会長表彰（6組9名）
  - ・ 岩手県社会福祉大会会長表彰（3組5名）
  - ・ 東北地区里親会連絡協議会会長表彰（1組2名）
- (カ) 親族里親等支援事業（県委託事業）
- a 事前打ち合わせ  
 期日、会場：4月13日、ふれあいランド岩手
- b 里親サロン  
 期日、会場：5月～3月 全9回、小佐野コミュニティ会館（釜石市）ほか  
 支援会員派遣人数：41人  
 専門職（臨床心理士）派遣回数：6回  
 延べ参加者数：21組21人
- c 3地区合同交流研修会

期日、会場、参加者：3月10日、宮古市総合福祉センター、2組2名  
 12月4日、小佐野コミュニティ会館、1組1名  
 7月4日、陸前高田市コミュニティホール、4組4名

内容：講義、情報交換

d 家庭訪問等の支援

内容：サロン・研修欠席者等への状況確認（電話確認を含む）

実施状況：宮古地区 1組1名  
 釜石地区 1組1名  
 気仙地区 3組3名 5組5名

## 6 指定管理施設の管理運営

### (1) ふれあいランド岩手の管理運営 [ふれあいランド岩手]

#### ① 施設の利用状況

本年度の施設利用者数は264,474人と過去最高の利用者数となり、平成6年の開館からの累計利用者数は4,763,746人に達した。

#### ア 施設区分別利用状況

(単位 人)

区 分	文化施設	スポーツ施設	合 計
本年度	61,080	203,394	264,474
開館からの累計	1,290,744	3,473,002	4,763,746

#### イ 利用者区分別利用状況

(単位 人)

区 分	障がい者	介護者	高齢者	学生等	一般	ボランティア	幼児
本年度	25,083	3,864	101,705	40,660	83,278	1,763	8,121
累 計	433,118	73,931	1,136,237	846,794	2,084,843	45,085	143,738

#### ② 教室等の開催状況

障がい者や高齢者等を中心としたスポーツ教室、文化教室を開催した。

#### ア スポーツ教室

障がい者の身体機能の向上を目的とした「リハビリ&水中歩行教室」など18のスポーツ教室を延396回開催し、8,616人の利用者が参加した。

#### イ 文化教室

障がい者とボランティア等の交流等を目的とした「街並み散策会」など6の文化教室を延19回開催し、442人が参加した。

#### ③ 各種イベントの開催状況

ふれあいランド岩手の利用者、地域住民との交流を促進するため、利用団体、地元自治会などの協力を得て、各種イベントを開催した。

- ・ちびっこフェスタ 2016 5月 5日 参加者 225人
- ・さまちゃれランド 2016 7月 26日～28日 参加者 2,269人



・ふれあいランド祭 2016	9月 4日	参加者 17,954人
・ふれあいフェスタ	12月 17日	参加者 1,820人
・さわやか交流水泳記録会	11月 20日	参加者 90人
・さわやか交流卓球大会	3月 12日	参加者 197人

#### ④ 各種支援事業等の実施状況

障がい者や高齢者等の個人利用者を対象として運動指導を実施するとともに、スポーツ教室並びに文化教室の修了者などによって結成された自主サークルの育成及び活動の支援に努めた。

- ・リハビリテーションスポーツ指導等の集団指導 延 198回 参加者 3,638人  
個別指導 延 977回 参加者 1,050人
- ・小学生等の福祉体験協力支援 9回 参加者 510人

#### ⑤ ボランティアの養成等

「初心者手話教室」(10回開催、延 126人参加)や「ボランティア養成講座」(2回開催、17人参加)などの講座を開催するとともに、各種ボランティア団体の活動の場を提供するなど、その育成・支援に努めた。

#### ⑥ 全国障がい者スポーツ大会卓球バレー競技の開催

全国障がい者スポーツ大会(希望郷いわて大会)の卓球バレー競技が、10月23日にふれあいランド岩手において開催され、チャレンジクラス 24チーム、わんこクラス 16チームが参加した。

#### ⑦ 利用者・団体等のニーズの把握

利用者のニーズを把握し、施設運営等に資するため、施設内に「意見・提言ボックス」を設置するとともに、地域住民や利用者、入居福祉団体の役職員等を構成員とする「地域懇談会」、「利用促進検討委員会」、「入居団体連絡会議」を開催し、施設の利用促進や連絡調整を図った。

また、利用者を対象にマナーに関するアンケート調査を実施した。

## 7 県社協の活動基盤の強化

### (1) 県社協財政基盤の強化 [総務部]

#### ① 自主財源の確保

企業団体等に対し本会の活動を説明するとともに、寄付金や賛助金の協力を呼び掛けるなどして自主財源の確保に努めた。

#### ② 経費の削減

ノー残業デーを設けるなどして超過勤務を縮減するとともに、見積り合せなどにより経費の節減に努めた。

## (2) 組織強化のための取組みの促進 [総務部]

### ① 会員の拡大

会員規程の見直しの検討を進めるとともに、新施設等に対し会員加入を呼びかけ、会員の拡大を図った。

### ② 適切な事務執行

内部監査人による監査を年3回実施し、内部牽制による適切な事務執行体制を確立に努めた。

### ③ 職員の資質向上

職員研修計画に基づき職員研修を実施するとともに、社会福祉士等資格取得を奨励し職員の資質向上を図った。

### ④ 活動計画の進行管理

活動計画の実施状況を点検・評価し、期間内での目標達成のため進行管理を行った。

## 8 会務の運営

### (1) 理事会の開催 [総務部]

【第1回】開催日：4月15日

議 題：・会長、副会長の選任について  
・評議員の選任について

【第2回】開催日：5月26日

議 題：・岩手県社会福祉協議会会員の退会について  
・平成27年度事業報告について  
・平成27年度一般会計及び生活福祉資金会計収支決算について  
・評議員の補充選任について

【第3回】開催日：9月30日

議 題：・岩手県社会福祉協議会会員の退会について  
・岩手県社会福祉協議会会費の改定について

【第4回】開催日：12月21日

議 題：・定款の一部変更について  
・諸規程の制定及び一部改正について  
・平成28年度一般会計予算の補正について

【第5回】開催日：2月15日

議 題：・岩手県社会福祉協議会会員の退会について  
・評議員選任・解任委員会委員の推薦について  
・評議員選任候補者の推薦について  
・評議員選任・解任委員会の招集について

【第6回】開催日：3月30日

議 題：・岩手県社会福祉協議会会員の退会について  
・諸規程の制定及び一部改正について

- ・平成 28 年度予算の補正について
- ・平成 29 年度事業計画について
- ・平成 29 年度収支予算について

## (2) 評議員会の開催 [総務部]

【第 1 回】開催日：5 月 27 日

- 議 題：・平成 27 年度事業報告について  
 ・平成 27 年度一般会計及び生活福祉資金会計収支決算について

【第 2 回】開催日：12 月 22 日

- 議 題：・定款の一部変更について  
 ・諸規程の制定及び一部改正について  
 ・平成 28 年度一般会計予算の補正について

【第 3 回】開催日：3 月 30 日

- 議 題：・諸規程の制定及び一部改正について  
 ・平成 28 年度予算の補正について  
 ・平成 29 年度事業計画について  
 ・平成 29 年度収支予算について  
 ・理事の補充選任について

## (3) 監事等による監査の実施 [総務部]

### ① 監事監査及び出納調査

【第 1 回】実施日：5 月 18 日

- 内 容：・平成 27 年度第 4 四半期の出納調査及び決算監査  
 ・各会計における資金の管理運用の状況  
 ・平成 27 年度事業について  
 ・平成 27 年度収支決算について

【第 2 回】実施日：9 月 6 日

- 内 容：・第 1 四半期の出納調査  
 ・各会計における資金の管理運用の状況

【第 3 回】実施日：11 月 25 日

- 内 容：・第 2 四半期の出納調査  
 ・各会計における資金の管理運用の状況

【第 4 回】実施日：3 月 3 日

- 内 容：・第 3 四半期の出納調査  
 ・各会計における資金の管理運用の状況

### ② 内部監査

内部牽制体制を強化することを目的に、本会経理規程第 65 条に基づき、内部監査人 4 人を選任し内部監査を実施

【監査項目】・小口現金、寄付金の状況 ・資産管理の状況 ・伝票と証拠書類の照合

- ・通帳と伝票の照合（残高証明との照合含む） ・契約に関する書類確認
- ・その他、適宜監査の必要があるもの

【実施日】5月17日、11月18日、3月2日

## 9 その他

### (1) 岩手県社会福祉大会の開催 [地域福祉企画部]

期日、会場、参加者：8月26日(金)、盛岡市民文化ホール大ホール、約1,200名

被表彰者数：3組、279名、31団体

- ・岩手県知事表彰（36名、3団体）
- ・岩手県知事感謝状（12名）
- ・岩手県社会福祉大会長表彰（3組21名）
- ・岩手県社会福祉大会長褒賞（61名）
- ・岩手県民生委員児童委員協議会会長表彰（28名）

記念講演：「人を動かし、地域を変える」

講師：高野 誠鮮 氏（元石川県羽咋市役所職員。日蓮宗本證山妙法寺・第41世住職。『ローマ法王に米を食べさせた男～過疎の村を救ったスーパー公務員は何をしたか？』著者）